第三千八百十一號 (一)　(明治三十九年九月八日第三種郵便物認可)　THE KEIJO NIPPO　大正七年五月三日

京城日報

五月二日夕刊 (朝刊夕刊を併せて八頁)

本紙定價 ▲一部金三錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社 電話番號 [illegible]

獨軍イープル攻擊阻止 勇敢なる英軍の應戰

獨軍のイープルに對する必死的攻擊は英軍の勇敢なる應戰により阻止されたり(倫敦電報)

米軍重要陣地占領

米軍はアミアン戰線に於ける獨軍の重要陣地を占領したり(倫敦電報)

墺對伊國講和提議

墺國皇帝は伊太利に對し單獨講和を提議せり(倫敦電報)

露對獨再戰準備

露國は獨逸に對し再び戰鬪を開始すべく準備しつゝあり(倫敦電報)

露國軍務服役規則

勞農政府は全露國民に對し尠くとも六箇月以上軍務に服役せしむるの義務規則を發布し勤務中に退役したる者は市民權を剝奪す可き旨規定し發布したるが是れ即ち國民皆兵主義一種の軍國主義に還るものなり但し計畫通りに行ける可しとは思はれず(哈爾賓特電)

獨墺會社合同計畫 戰時生產品管理と供給遮斷

クリスチャニア來電=有力なる筋より聞知するところに據れば獨逸東洋會社(北獨ロイド及びローマン等を含む)獨逸及び墺匈國の大會社若干合同しブレーメンに於てユーロ、ハ、エッシエ、ハンデルス、ガッセシャフトなる名目の下に一會社を組織したり、其目的は露西亞、波斯、滿洲、支那、トルキスタン、羅馬尼より輸入せらるゝ戰時生產品、獸類、野菜、織物類、鑛物類並に原料品等の重要なる貿易品を管理統一し戰前に遡ぎ貿易取引を爲し居たる上記諸國の輸出業者全部に對し同盟を組織せしめ且つ聯合國と商取引を續け居る中立國に對して是等諸國の產出品供給を遮斷するのみならず中歐列强諸國と總ての通商關係を絕たんとするにあり同會社は更に協商國側と親密なる中立諸國の財政上及び通商上の地位を破壞せん爲めボイコットを行ひ且つ中歐列國と友誼ある中立諸國を包含する中歐列强商業連衡を形成せんと計畫しつゝあり而して同會社は講和條約調印後一箇年後迄政府の管理を受く可きも其後は非公式の會社として繼續せらる可しと(倫敦電報)

セ軍ボルシヤ占領

セミヨノフ軍が今後チタを攻略したる上後貝加爾哥薩克がボリシエウイキの爲め壓迫せられ居れる狀態を放置し置かんには將來の大事を誤る可く我軍の進擊此機を逸す可らずと猛烈進擊を開始したるセ軍はセミヨノフ自ら陣頭に起ち連戰連捷最近又ボルジヤを占領し益々チタに向つて前進を繼續しつゝあり(哈爾賓電報)

電信借款の成立 總額二千萬圓=鮮銀興銀臺銀三行の引受=一日調印を終る

支那政府は電信官設に充つべき經費として二千萬圓の借款を中華匯業銀行を通じ吾が鮮銀興銀臺銀三行に對し交涉中なりしが五月一日東京に於て吾が引受銀行團の代表者と中華匯業銀行代表者との間に正式に調印が終り成立したる旨朝鮮銀行に入電ありたり該借款は中華匯業銀行にて支那の電信收入を擔保とし期限三箇年利率年八分にて二千萬圓の資金を貸與せる借款を三銀行は擔保として收得せるものにて近日現金の授受を終るに至るべく該借款の成立は支那內部に於ける通信機關の新設改善に貢獻する所少なからざるべく內陸に於ける人文の開發商工業の發展に資する所蓋し大ならんと

石井大使親任狀捧呈

石井駐米大使は四月三十日ウヰルソン大統領に親任狀を捧呈せり(紐育電報)

谷田少將出張

陸軍少將谷田繁太郎氏は支那へ出張仰付られたり(東京電報)

永沼中將著馬

永沼中將は二日來馬直に講演會に臨みたるが三日は鎭海にて講演を試み四日釜山に向ふ筈なり(馬山特電)

滿洲火藥工業有望

砲兵大佐 明石東次郎氏談

本紙既報の如く管內在鄉將校團に加つて滿洲より入京し來れる砲兵大佐明石東次郎氏の視察談に曰く

ほんの皆見に依つて滿洲の工業がどうの經濟狀態がどうのと語るのは僭越の沙汰ではあるが自分の畑の火藥製造の方から一寸感じたまゝを述べると、滿洲には石炭が無限に產する許りでなく勞力が安價に供給され地價が安いから

▼工業の發展 期して待つ可きで、現に沙河口及び本溪湖の製鐵所を始めとし製粉所硝子製造所其他各種工業勃興せんとしつゝ有るが之に伴うて鑛業の發展も著しくなつて來た、元來工業の發展は鑛業の發達と俟ち鑛業も又工業の力に依つて助長され兩者の間は密接なる關係交涉を有つて居らねばならぬが滿洲は內地と違ひ此點に於て最も有利な地位を占めて居るから將來は極めて有望である吾々の專門の火藥も鮮滿に於ける鑛業の發展に伴うて年々需要を增し今日では滿洲方面に

▼製造工場を 起し自作自給の途を計らねばならぬ機運が到來したが幸ひ滿洲には火藥の原料となる可き硫酸もリスリンも豐富に產する硝酸も空氣中の窒素から製造す可く研究中であるから近く完成したならば原料に窮するやうな事はない最近歐洲方面から爆藥の輸入が杜絕したため日本でも漸く兵工廠や山口火藥製造會社等で製造して居るが內地の需要を滿すさへ不可能の今日滿洲に於ける火藥工業は將來有望であらうと思ふ

林野調查令發布

朝鮮林野調查令は五月一日附を以て三日總督府官報號外を以て發布さる即日施行さるべく內容は追て田中山林課長の談として揭げたり

船舶檢查令施行規則中改正

朝鮮船舶檢查令施行規則中改正の件は三日公布即日施行のことゝなるべきが改正の重なる理由は近來非常なる船舶の增加と海運の發達に伴ひ區域及び大連方面の航行船舶激增するも從來の航路區域を以てしては到底其の目的を遂ぐる能はざるの憾あるに依り現行區域整理並に改正を行ひ以て海運の發展に添はんとするに在るものなり

輕鐵令施行規則改正

朝鮮輕鐵令施行規則中改正の件に關する右府令は三日發布即日施行の筈なるが改正の重たる理由は事務の前提を明するの目的を以て文字及取扱手續等に改正を加へたるものなり

鮮銀副總裁內定 三島鮮銀理事の殖產銀行頭取說

某消息通談

東京電報は朝鮮銀行副總裁の內定を報じ其の候補者として專賣局長官嘉納德三郞氏を擧げ最近まで

▲副總裁昇任 を噂された三島理事は新設の殖產銀行頭取に就任し而して鮮銀理事を兼ぬべしと傳へ來れり此間の事情に付某有力者は恐らく遠からず事實とならんと前提して語る、朝鮮銀行法の改正案が議會を通過し副總裁新設の事確定するや初め副總裁として大藏省系の人物鮮銀に入るべしとの說ありしも幾許もなくして鮮銀首席理事三島太郎氏昇任の噂が擴まつた、三島氏は鮮銀創立以來の重役であり深沈にして識慮深く人格技倆共に秀で

▲行內の輿望 淺からざるものあり、又外部の受けも頗る良い人であるから何人も氏の副總裁就任を待望してゐたが、最近に至り形勢は又一轉して嘉納專賣局長官の副總裁內定を見るやうになつた、嘉納氏は勝田藏相と同じく明治廿八年の大學出身であつて藏相と同年の友人である、唯その昇進は地方の稅務監督局長や稅關長を歷任し多く中央に遠ざかつてゐたためであるかどうか幾分遲れた觀はあるが然も現に高等官一等一級俸を受け役人としては上れる丈け上つてゐる、乃で色々の關係上此際退官して大銀行の副總裁に就任する事となつたのであらう、又その

▲推薦者 は恐らく大藏大臣であらうと思はる、唯氏の銀行家としての手腕は未知數だが學校は現三島片山太田三理事より三年も先輩であり經歷も大藏省系統に二十餘年間も勤め拔いて來た人だけ副總裁として不足はあるまいと思ふ、又三島理事の殖產銀行頭取は未だ銀行法も發布されぬ前から彼の批評をするのは聊さか失當だが、恐らく殖產銀行頭取として適任者を見當らぬため白羽の矢が氏に立つたのであらう、殖產銀行の經營は素より永い間を見れば有望に相違はないけれど當分少からぬ

▲難關に遭遇 するに相違はない、その間に善處する銀行の首腦者は朝鮮の事情に通じ金融界の表裏に明るい人を必要とする、左樣な人物は目下の朝鮮に求め難くさりとて之れを內地から招致する事も困難である、更に又新殖產銀行は親銀行若くは兄銀行として朝鮮銀行と密接な連絡關係を保持して行かねばならぬ、さる意味より三島氏に殖銀頭取を持つて行き併せて鮮銀理事を兼ねさす事は最も適當な人選と云つてよい、朝鮮銀行は日本に於ける日本銀行の如く朝鮮の

▲中央銀行 である、日本銀行が內地の特殊銀行に其人物を送る如く朝鮮銀行が朝鮮の特殊銀行に人物を送るのは特殊金融機關の連繫上喜ぶべき事だ、乃ち正金銀行の井上頭取の如き興業銀行の土方總裁小野副總裁の如き勸業銀行の柳谷副總裁の如き悉く日本銀行出身の人である、三島氏が鮮銀の理事を兼ね若し噂の如く中村庶務局長と共に殖產銀行に入り共に其の蘊蓄を披瀝する事とならば鮮銀と殖銀の關係は理想的に進むであらうと思はれる

鮮銀副總裁內定せる 嘉納德三郎氏

小額紙幣分送

朝鮮銀行にては既報の如く其の擁出しに係る小額仕拂手形の回收に伴ひ一般市場に撒布すべき小額紙幣四十五萬圓一日到著せしを以て二日より各方面に配送を始め前記の引換へ拂出しを開始したが本店並に市中銀行に於ける當日の拂出高は相當額に上りたる模樣なり

奈良より

金谷生

◆舟よし奈良の遊覽へは廿日の午前十時着、ステーションより直ちに東大寺に向ひ申し候途中猿澤の池に三重の塔を仰ぎつゝ進めば遊覽客の衣香扇影絡の如く春日神社前の一帶吉野櫻の櫻樹は既に青葉姿と相成り候

◆東大寺にてわが喇嘛僧一行は清楚なる院に招じ入れられ此處にて手厚き茶菓の饗應に預り申し候庭前苔に古りたる石燈籠に老松を賞しつゝあれば寺の後なる樹立の間より『ボーン〳〵』と大佛の鐘の音響きて餘韻永く鏡ヶ池を渡りいかにも奈良らしき氣分に打たれ申し候

◆大佛樣は御存じの通り御丈け五丈三尺五寸お眼の長さが三尺九寸、而も今より一千二百年前聖武天皇の御宇に建立されたりとは驚くの外なくこの點は朝鮮も同樣ながらむかしの文化が如何に燦然たりしものなりしかが推知せられ申し候

◆本殿は高さ廿六間四尺六寸、今日の工費にては約四百萬圓以上を要するとの事にこれあり候、兎に角むかしの人は偉く候

◆只今ノ佛林の喇嘛僧谷は一日約一萬八千以上の喇嘛もその大きさに驚嘆しつゝ蒙古式の禮拜を佛前に讀み上げ申し候

◆更らに天平年中鑄造の大梵鐘も拜し月堂を拜いたし候ところ其の建物の古き事と佛像の尊さとに驚き入り候佛像は天平時代の代表的彫刻物にて世界に誇る寶冠は世界における第二のものと承り候

◆猶ほまた當時の彫刻は印度と波斯及び中央亞細亞との關係上遠く西歐羅巴の影響これあり候由にて此の事は小生の知れる範圍にて京大の太田教授が熱心に研究し居られるやうに御座候

◆殊に東京松樣の紋樣に至りては希臘そのまゝの手法を傳へ居り候由奈良の美術を知るには先づ希臘より出發せざるべからず候

◆元來奈良朝は彫刻多く平安朝は繪畫多き由なれど前者は飛鳥朝時代を法隆寺にて代表し、白鳳時代を藥師寺にて代表し、天平時代を東大寺に、後期天平時代を新藥師寺に、そして末期を唐招提寺にて代表いたし居る由に候

◆また唐との交通以前は朝鮮が佛教の先導に候間この方面の關係一寸看過すべからず候へ共是は財布の乏しきよりも頭の中の乏しきがみゞきりにて候

◆更らに嫩草山にては名の如く青き芝生の上に小學校生徒の野遊びと一緒に相成り候鐵道山は滿洲の大連にも朝鮮の京城にもこれあるやうに候へども本家の奈良が最もよきやうに候

◆あの深き若葉の森を控へたる間に若草山の描きたる如きかりの山は眞に天才者の仕業なりと感嘆いたし候ところその因緣東大寺の境界の爲めとは面白く、興福寺の山燒きも奈良名物の一つと聞及び候

◆われ等は更に春日神社より興福寺に參拜それにて奈良の見物を了り申し候、次に當地にてうれしかりしは猿澤にて外ならず杉本碰一氏が大和新聞記者として駐在され居られし事さては元山の小田村氏と再會いたしたることこれあり候

◆奈良の夜は頗る靜かにて『三笠の山に出でし月かも』その影さへも柔らかくやさしく候 草々(四月廿日)

七年度道路改修

京城府土木係にては大正七年度府內局部改修道路の部分的測量に着手せるが本年度に於て府が計上せる改修費の豫算は總額約二萬一千圓にして突發臨時的の道路改修等を見越せば二萬四五千圓を算するに至るべきかと其の主なる改修部分は三阪通りより漢陽公園に至る延長七百五十間幅一間半道路の敷設、南大門より西小門に至る延長二百間幅三間、蓬萊町より麻浦に至る延長三百間幅三間及び南山町消防詰所前延長五間幅二間半の四箇所を本年度に於ける豫定地區と決定せり右の內三阪通りより漢陽公園に至る道路の如きは龍山及び京城聯絡交通道路の一として一般に多大の利便を與ふべきを信ずと當局は語れり

商議評議員會

京城商業會議所にては既記の通り二日午後二時より役員會及び定時評議員會を開催し六年度決算承認を經たる上事業の報告を爲せり

學校組合設置許可

慶南河東郡在住內地人より設立許可申請中なりし同郡彌助學校組合設置の件は二十九日附許可の指令ありたり▲忠淸南道大田郡守より申請中なりし大田公立簡易學校設置の件は五月一日附を以て認可の指令ありたり

京元線一等車聯結

滿鐵京城管理局にては從來京元線に於て一等旅客の取扱を爲さゞりしが事實上軍人實業家等の乘車希望多きを以て來る十日より午前九時三十分南大門發及び同九時四十五分元山發の兩列車に限り一等客車を聯結し之が取扱をなすことゝなれり

露貨換算率變更

東淸鐵道に於ては本月二日以降日滿聯絡貨物運賃に適用すべき日露貨幣換算率を百圓に付三百六十留となす旨滿鐵京管局に通知ありたり

將校團一行入京

東京本鄉聯隊區在鄉將校鮮滿視察團一行西四辻少佐外二十五名は二日朝龍山著列車にて安東より入京[illegible]

南軍先登長沙に現る

南軍の先登部隊は長沙を距る二十六里の地點に現はれたり(北京電報)

奉天軍三師長入津

天津來電=四月三十日奉天軍の汲純、孫烈臣、吳俊陞の三師長及び參謀長楊宇霆氏入津不日南下す可し(北京特電)

電信借款調印

電信借款二千萬圓成立し四月三十日北京政府代表者曹汝霖氏と匯業銀行總裁陸宗輿氏との間に調印を了したり(北京電報)

元露國砲兵中尉來鮮

西伯利反過激派露國砲兵中尉ボ[illegible]フ(三五)は過激派より危害を加へられんとせしを以て某國の保護に依り浦鹽より平安丸に乘船し一日淸津通過京城に向ひたり(淸津特電)

關屋局長歸省

關屋學務局長は二日午後展墓の爲め東京に歸省往復四週間の豫定なりと

兩參謀長歸任期

參謀長會議列席の爲め東上中の市川軍參謀長は多分岡本師團參謀長と同道四日龍山著歸任すべし

警務部長檢閱

京畿道警務部長關澤憲兵大佐は三日午前八時より總監部構內廣場に道警務部及び本町鍾路昌德宮三警察署の職員召集操練の檢閱をなすべし

有賀氏四日朝入京

有賀三井理事は四日午後入京の旨既報せしが此程日程變更せられて四日朝入京の事となれり

大田

▲大田驛落成期 昨年八月起工したる大田停車場の竣工期は六月十五日なるも主なる工事は本月中に大略竣工すべく來る六月十五日頃盛大なる落成式を擧行すべしと▲消防組演習 大田消防組第一部及び第二部は一日午前八時より大田市外大尺廣場に於て消防演習を執行したり▲大田溫泉株式會社 大田溫泉株式會社株主總會を四月三十日午後一時より取締役內藤雄氏宅に於て開催し六年度決算報告の件及取締役監査役の任期滿了に付改選の結果監査役佐藤總太郎氏の後任に辻謙之助氏を選擧し他は全部重任の事に決して散會したり因みに大正七年度に於ける同社の新事業として更に溫泉の湧出力を增大せしむる目的にて適當の方法を以て試掘する事となりたり

淸州

▲地主會 淸州の地主組合員は四月三十日午前十時より淸州郡廳に開催せり▲畜牛注射 牛疫豫防の爲め五月九日十日の兩日南石橋に於て第二回畜牛注射施行の筈▲林業獎勵 四月二十三日當地方各私營苗圃中成績優良の下記五氏に對し道長官より賞狀並に賞品を授與さる『淸州面[illegible]』彥、藤田常太郎、本橋保治郎、杉彬、閔泳殷▲會計檢查 來淸出張中なる水島檢查官一行は各官廳の會計檢查終了に付官民有志は一日旗亭ほへと樓に一行を招待し慰勞會を催ほしたり

晉州

▲四月中經濟 四月中の財界は例年の閑散季なるも昨年に比較し餘程順調に經過せる模樣にして殖銀支店長も近年稀有の良成績なりと語り居れり▲會社と起業 近く晉州に勸業株式會社及び山川淺平氏の製絲工場設立さるべしと

人事

▲坂口平兵衞氏(東亞煙草社長) 一日來京巴城館へ
▲福□才藏氏(同重役) 同上
▲林田重光氏(同技師) 同上
▲鈴木慶北道長官 二日朝退京
▲小畑啓道氏(久原鑛業社員) 朝鮮ホテルへ投宿二三日滯在

酒前茶後

○混沌たる露都にては、獄中のトロツキー君、頻りに防備計畫に苦慮しつゝあるかと思へば、今度は帝政復活の革命勃發すと報ぜられ、西伯利は群雄割據、莫斯科にはレーニン頑張る。愈々以て露國の天下は混沌たり。徐々以て此の結末は厄介となる。

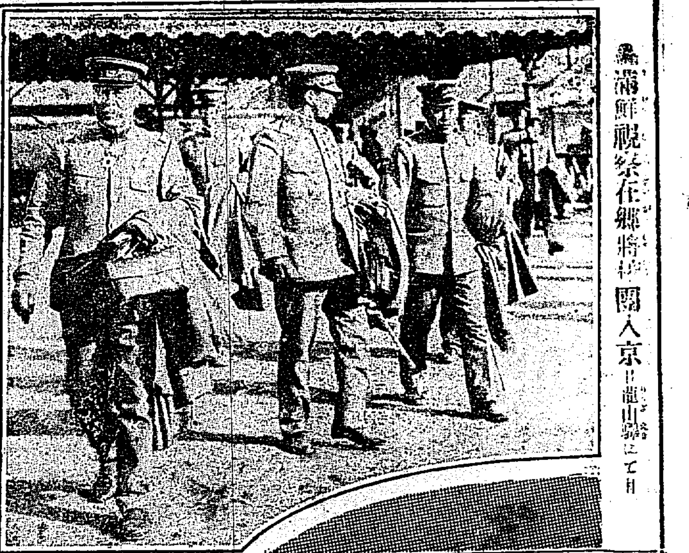
○倫敦の一新聞曰く、今度の戰爭が長いとて誹す人の多きも、百年前の拿翁戰爭は如何、二十年の長日月を消費せしに非ずや。時の英國は、人口僅に一千二百萬、歲入僅に約六億。即ち人口は現今の三分の一、歲入は十分の一に過ぎざりしに。而も國民中、戰爭の長いと云ふもの一人もなかりしと。二十年と斷定して腰を据ゆれば、後は最う僅に十五年、百年戰爭に比せば、まだ〳〵悠々閑々。

○今年は養子に頗る祟る年なり、九州疑獄の大谷發身君も、高田信次郎君も、岸本兩太郎君も、若松の富豪栃木家の養夫君も、何れも養子にて、九州事件が死んだ養子連で成立せし犯罪の觀あるは奇也。大阪市會議員小西儀助君の養子三四郎君は、縊死自殺を遂ぐ。三四郎君は、金持たず、人生養子の身となる勿れとは、矢張千古の格言なるべきか。

時間表

十一月一日現行

[illegible]



満鮮視察在郷將校團入京＝龍山驛にて＝

満蒙發展に資せん
―満鮮視察將校團入京
◇戰跡名所を觀て歩いた許りではない 印象深かりし三國折衝の長春

満鮮視察の途にある本縣聯隊區管内在郷將校團は二日午前八時龍山驛着龍山軍司令部及び師團將校の出迎へを受け直ちに司令部將校合同宿舍に向つたが一行を車中に訪へば

幹事の西四辻少佐曰く『一行中には明石大佐の如き火薬研究の權威を始め日露戰爭の際黒木軍にあつて奮戰苦闘をした川崎大佐文雄

▽新進作家 長田秀雄氏其他會社員商店主釀造家營農者等中流階級に於ける各方面の人を網羅してあるから單に戰跡や名所を觀て歩いた許りではない商工業及び經濟事情をも調査して後日満蒙發展に資せんとする人も尠くなかつた今度の旅行で最も感慨を惹いたのは長春であつた

◆南満沿線は支那人と日本人の雜居であるが日本の勢力範圍内の事とて特殊の印象も與へられなかつたが長春に入ると支那人も日本人も露西亞人も居るので第一瞥の時早くも三國折衝の地と言ふ強い印象を刻みつけられる、一時横行跋扈して居た露西亞兵は全く影を消して其兵營は潰廢し苦力などがごろ〳〵して居るのを見ると

▽國家興亡 の活歴史を見せつけられる樣な感がして沁々國力の發展と軍隊の力と言ふものが有難くなつて來た遼陽では公學堂で支那生徒の君が代を聞いたが思はず胸が塞つて涙が溢れた、だが日本人の小學校で分列式を見て東京の少年團の遠く及ぶ處でないと一同舌を巻いた」團長の川崎大佐曰く『私は日露戰爭の際近衛第二聯隊第三大隊長として

◆鎮南浦から上陸して鴨緑江戰に參加し進み進んで本渓湖を占領し遼陽戰の際には黒木軍の右翼となつて敵を威脅した沙河戰には第三十聯隊長として惡戰苦闘を重ね續いて寺山鎮家屯等で連戰連勝して奉天戰に臨んだが今度久し振りで往時奮戰の跡を弔うて轉た感慨無量であつた、只遺憾なのは蘇家屯の如き戰跡が徒らに

▽風餐雨虐 に委してあつた事で此の儘ならず湮滅する虞れから守備隊長に小さい石碑を建てたいから豫算を作つて送つて呉れるやう頼んで置いたが豫算書がつき次第記念碑を建てる心意である』

▼若葉の秘苑
＝の風光を賞づ
藥水に咽喉を潤す

二日朝軍司令部將校宿舍に長途の旅行の疲勞を慰めた鮮満視察本郷在郷將校團の一行二十七名は午前九時半打ち揃つて昌徳宮を訪問し府御附武官の案内で先づ

▲仁政殿 の結構壯麗なるに驚異の眼を瞠つた後秘苑に向ふ秘苑の春は既に老い一時妍を誇つた連翹、躑躅、櫻の花ももうすつかり梢を辭して青葉若葉の眺めずくしく一しほ幽邃の色を添ふて居る一行は觀光撮影師めしく

▼青葉の 蔭を此處彼處と逍遙して飽迄此幽邃な風光に醉ひ六角堂で茶菓の饗應を受けた後植物本館、博物本館、動物園等をグルリと一巡りして十一時過ぎ弘化門から退苑、直ちに總督官邸の午餐會に臨んだが例の

▼玉流川 の附近と青葉隠れに朱塗の廂が見ゆる宙合樓の邊りは餘程氣に入つたらしく中には玉流川の藥水に咽喉を潤したものも尠なくなかつた

●上海暴動
税金引上に憤慨 米義勇兵出動

上海市内の果物賣子税金引上げに憤慨し暴動を起し大擧して諸官衙を襲撃し警官と衝突し即死二名を出したるが米國義勇兵の出動に依り漸く鎮定さるゝを得たり(上海電報)

●桃山中學生
府廳に殺到 學校改革を叫ぶ

私立桃山中學生二百名學校の改革を叫び一日夜府廳に殺到し陳情書に血判するなど騒ぎ居れり(大阪特電)

●喇嘛僧還る
二日奉天歸著 大満足にて解散す

四月一日以來日本各地觀光中なりし蒙古喇嘛僧一行春風一路無事二日午前七時半奉天に歸著せり一行は緊頭盛んなる出迎を受け直に小西邊門外皇寺に入りたるが午後より釋獣笑師の挨拶を以て芽出度此行を終れり尚喇嘛僧一行は内地及び朝鮮に於ける歡迎並に佛教の盛大なる事を悦び歸郷の上は郷里の人々にも此の歡びを頒つ可しとて各々大満足の態なり(奉天特電)

●分捕船渠貸下
青島より廻航

一昨年七月青島より佐世保へ曳き來りし分捕の大船渠は近々神戸へ廻航川崎造船所に貸下げらるゝよし(佐世保特電)

●腦脊髓膜炎
東京に發生

新に傳染病に指定せられたる腦脊髓膜炎患者東京四谷區仲町三丁目に一名發生し當局は實扶的利亞と同樣の消毒法を施し警戒中なり(東京特電)

●渡船顚覆
乘員十五溺死 忠南苔戸の椿事

五月一日午前九時三十分頃忠南瑞山警察署管内南面より安眠島に通ふ苔戸渡船場にて潮流の爲め一隻の渡船顚覆して沈沒乘員三十餘名の内十一名だけは辛く救はれしが十五名は遂に溺死をなすに至り行方不明者は尚捜索中なる旨忠清南道警務部長より警務總監部へ電話報告ありたり

●淨土宗西山派管長 淨土宗西山派管長には三河圓福寺法主山崎覺明師新任決定す(京都電報)

●起重機上より墜落
◆三菱製鐵所の椿事◆ 職工三名即死

四月三十日午後五時三十分頃三菱製鐵所構内高架移動起重機上にて作業中なりし香江組配下支那人職工三名は足場板の折れたるため六十尺の高所より墜落し腦漿飛散して見るも無殘の即死を遂げたり(兼二浦)

●脱線列車人家に衝突
＝牛を助けんとして 小兒即死重傷

一日午後二時平南大同郡晩達面發列車は同郡秋乙美面新里に於て空貨車四輛脱線し人家に衝突し頽倒屋内の小兒二名を突倒し一名は即死一名は重傷機關車及び貨車には何等損害なかりき原因は放牛の軌道に飛込み動かざるを避けんとして急にブレーキを止めたる爲め此の如き死傷者を出したりと尚一名の重傷者は郎に平壤に治療の爲め連れ來りしが平壤驛前死亡せり平壤署よりは藤原警部警察醫を伴ひ出張檢視せり

藤島の花

京城郊外藤島の名物、梨と林檎の花はこの頃漸く開き初め此の次の日曜(五日)頃が最も見頃なるべしと花信あり

●相川氏事件再審

豫て文書僞造僞詐及び恐喝の罪名に依て告發されたる全南光州の光州日報社長相川保三(四七)氏に對する被告事件は第二審大邱覆審法院に於て審理中なりしが文書僞造詐欺は無罪となりしも恐喝罪に依り懲役一年の判決を受けしを不服とし高等法院に上告したる結果五月二日同法院に於て原判決中有罪に對し刑の言渡したる部分を破棄し事件を京城覆審法院に廻附する旨判決となれり

●京城荒しは九年

先頃京城市中七箇所にて大賊を働きたる末本町警察署の手に逮捕され京城地方法院に送られたる東京市神田區今川小路二丁目生れ京城花園町中川つる方に同居中なりし前科四犯の小島亮三(二八)は此の程地方法院にて懲役九年の判決を受けた

●夏場所
＝愈々近づく 五日番附發表

夏場所大相撲愈々近づきしが四日は水害救濟會の餘興相撲五日番附發表九日大鼓、十日初日、打揚後玉手山、上玉、小常陸等の引退相撲あり可し(東京特電)

●大佐夫人剃刀自殺

和歌山在住山口縣長府町後備工兵大佐山口騰一郎氏の夫人雪子(三五)は一日剃刀自殺を遂ぐ原因はヒステリーなるべし(和歌山電報)

◆總督府電話呼出方

●勤務時間中 六〇〇一を呼び然る上所要の構内電話番號を呼び通話せらるべし

●退廳時間後 は直通電話六〇〇一番の二一(第一受附)二二(度支部受附)二一(總務課宿直室)六一(小使室)五(消防事務室)八(第一課)一〇(會計課長室)七(會計課用度係)四(木工場)九(和食所)尚居殘勤務者への用務は一受附にて電話番號問合さるべく長六七番會計課宿直室電話は從來の通り直通す

●淨土宗開教院御忌法要 一日より[illegible]淨土宗開教院に於て[illegible]法要[illegible]

●夜市開市
＝若草町新道路 人出は却々多かつた

若草町の夜市は一日の夜から開市された、警務總監部通の新道路本町の角から黄金町の角へ至る間の兩側へ露店を並べたが其の數が非常に尠くいさゝか寂寥の感じがあつたが宵の口から人出は却々多くその爲めに店は却つていゝ商賣をしたと云つて居た之れに就て夜市事務所では次の樣に話つて居た「場所有志で出店する事は我々が全く本意ない次第で賑々しく餘興でもやつて始める心算であつたのです、それで役所へ行つて御相談をしました處が餘興などをやらなくしも何か方法がありさうなものだとのお話しであつたので我々も押してとは云ひ兼ねた樣な譯ですから云ふものは一つは人氣ものですから太平町にしろ南大門にしろ開市の時は餘興をやり人氣を呼んだものです、就ては今度の開市の時にも餘興をやり度いと思つて居ます今日の所は申込が尠ない譯ではありませんこの通り場所は大部分約束濟になつて居ますが内地から荷が來ないさか始めたから値段も見て商品を定めるさか云つてる者が多い樣です」

●茨城縣人會 茨城縣人春季例會は來る四日午後六時より南米倉町京城倶樂部に於て開催すべく多數縣人の出席を歡迎する由會費は金一圓にて當日持參のこと出席希望者は前日迄に總督府編輯課(構内電話一五三番)大内猪之介氏宛申込まるべしと

讀者文藝 (一等には五十錢の郵便切手を呈す)

◎謎『五月幟とかけて』

名譽の戰死と解く心は男らしくて勇ましい(一等) 本町二丁目京城銀行内 茂呂繁

近頃の物價と解く心は高く上つて居る 鳥致院 抜天生

恩知らずのお雛さまと解く心は風に吹かれてあるわい 京城 浪史

からくり人形と解く心は中は空アキ 京城 重

朝顔日記と解く心は東の旅に戀寄り(譬喩) 京城 森西

灯ともし頃

▲リユーマチスで御起居も不自由であつた李太王殿下には先日東伏見宮殿下の御入京の際も御對面が出來なかつたから御使を差遣された位だが多年御手當の效が見えて昨今は快方に向ひ自由が利くやうになられたとか▲お隣の南山町に住む富田翁は京城に日本の領事館が出來た前後して入京して以來▲殿下の御信用が厚く殿下常用のラムネは悉く富田翁の手で商ふ事になつて居たが[illegible]平野水が殿下に御氣に入りするために[illegible]▲富田翁を呼び寄せて[illegible]

小額紙幣が四十五萬圓來た
＝蓆に包まれた紙幣の箱＝

去年の十月から朝鮮銀行の本支店で補助貨不足を補ふため朝鮮内に撒出してゐた小額仕拂手形(五十錢廿錢十錢券)は今回全部回收する事となりその代りに政府發行の

◆◆小額 紙幣(五十錢廿錢十錢券)を發行する事となつた、現に朝鮮で撒出してある鮮銀の手形は約六十七萬圓だが之れを引換へるため一日の午後二時朝鮮銀行に著いたのが寫眞の如き蓆包みの小額紙幣である、コレは

◆◆十錢 券二百五十萬枚の二十五萬圓、二十錢券七十五萬枚の十五萬圓、五十錢券十萬枚の五萬圓で都合四十五萬圓に達し五十個に分割されてゐる、鮮銀では二日より各地に

◆◆發送 引換へに取りかゝるさうで又各農工銀行や金融組合もその引換事務を助ける事となつてゐる、で二日から古い新らしいを問はず鮮銀の小額券を所持してゐる人はそれを

◆◆鮮銀 に持つて行くと手形の切れるやうな新らしい政府の小額紙幣と取りかへて呉れるさうな

商況

兵庫期米 二日前場寄付 二十六圓八十四錢 [illegible]

東京期米特電 二日前場 二十七圓 [illegible] 丁度

大阪三品特電 [illegible]

大阪期米特電 [illegible]

下關期米特電 二日前場 寄付後の買物に下押す [illegible]

雜報

●綿糸布更に昂騰

大阪三品新甫發會の値は前日の如くにて其他の各限に至つては[illegible]

今前場は一段上値 發會値より十一[illegible]

綿布も龍レ 十一圓七十五錢 粗布三十五 一百八十八 圓迄取引行はれ

●鐵板依然強固

引續き歩々しき取引行はれざるが市況ボンヤリの成行きを呈し居れり[illegible]

強氣に厚板物は依然 棒鐵類 釘類 亞鉛鍍金

[illegible]

●支那栗硬化 上物は弗々望人現はる

[illegible]

●内地製粉持直

[illegible]

仁川正米

▲穀の入荷少なし[illegible] 高値は見送り[illegible]

釜山穀物(一日)

[illegible]

生魚市場

[illegible]

仁川期米

▲二日前場(小堅し) 第一節 大阪天候晴 二十六圓六十[illegible]

正米ボンヤリ

[illegible]

下關相場

[illegible]

南大門の廻漑

[illegible]

市場雜觀

[illegible]

八錢と昨止りより二錢高 兵庫[illegible]先二十二圓 四十二錢と二錢高 寄付[illegible] 高値に上伸して 五十五錢と新[illegible] 大阪跡安移

[illegible]

安値は正米の崩落 未だ崩落の餘地

[illegible]

仲買人の帳簿 檢査との說 米價の調節

[illegible]

氣緩和 限の解合を斷行 此際五月限丁度報 新甫二十七

[illegible]

北濱だより

▲大阪鐵工株 [illegible]

▲合同と東株 [illegible]

調節の効果薄 說は是以下を發表 錢六節六十九錢 五節七十[illegible]

仁川米豆取引所 二日の七月限

[illegible]

叺縄莚 穀物及荷造用莚各種 大田本町二丁目 箕浦商店 長電話五二番

ウ 内海仲買店 仁川本町 電話[illegible]

仲買店 仁川米豆取引所仲買 [illegible]

天氣 晴れ一時曇 (二日午後六時迄)

讀者文藝 課題及び募集規定

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲一等[illegible]

[illegible]

斯んな樂土が世界中の何處に
◆あらうかと發嘆したる喇嘛僧團の感懷◆

四月一日に奉天を發して日本觀光の途に上つた蒙古喇嘛僧の一行は三旬の旅程を訖れて日本内地を觀光し去月二十九日午後一時大連著諸元丸にて滿鐵埠頭に上陸したさ悦んで兎に角安堵の胸を撫で下ろしながら聞けば滿足なる喜悦の顏色にて語るやう(大連)

第一印象として
其處に行かなかつた日本では到る處

日本觀光に出發の際は何んとなく恐ろしいやうな感じがしたのであつたが愈々朝鮮へ這入ると總督閣下までが悦んで迎へられて先づ大歡迎を受け何んとお禮を申して好いやら判らない日本で見た凡てのものはたゞ『良ろしい』これより外に答へる言葉を知らない殊に日本の寺の甚だ立派であつた事は自分達の豫想の遠く及ばない處であつた而かも其の寺の中には吾々と同じ信仰を持つた日本の僧侶が住んで佛の敎を弘布してゐる寺の形式や信仰に於ても日本と蒙古の佛敎には古昔傳來の幾多の共通點のある事を見て非常に心強く愉快に感じた特に佛の力が日本に於て頗る偉大なる示現を爲して居る事を目のあたりに見て贊嘆の外は無い

陛下には佛敎の
先づ第一に一天萬乘の御身を以て佛へ信じられて衆生を濟度し給ひ至上の幸福を下萬民に與へて居られ無線電信、電話、電車、自動車、飛行機、軍艦等とても人間の力では拵へる事の能きないものまで佛の力を借りて拵へて日本では凡て備へてある、其の他日本の山水は非常に秀麗であつてこんな處は世界の何處にも無い事を斷言しても好い、櫻の花の美しい事はとても譬へてお話しする事は能きない、日本の山水や櫻花の爛漫たる中は誠に菩薩の御住居に相應はしい處である、又日本人の心持の優しい事は櫻の花の如く自分達が遠くから行つた事を非常に悦んで迎へてくれた誰でも斯うして悦んで大切にして貰へば悦ばぬものはあるまい、日本は實に宜い處である、自分は

これから幾度も
日本へ行つて見たいと考へてゐると、此の外國員は交る〲東京に於ける釋尊降誕會の莊嚴華麗であつた事、日本には印度の僧侶までが來てある事、日本は佛敎の中心地であつて吾々の法の故鄕である事、奈良の大佛の偉大である事、あんな大きな佛像は唯人間の力でばかりは作られぬ、つまり純眞なる信仰を佛陀が嘉してあんな大佛像が成り上つた事等を語つた一行は船中も極めて無事一人の船暈者もなく汽車よりも

綺麗で廣くつて
旅行をするには船に限ると悦び

しして大連埠頭には大連佛敎各宗僧侶及び淨土宗明照婦人會員大師講會員其他有志者多數の出迎へあり馬車でヤマトホテルに投じた四月三十日には一同表忠塔招魂祭に參列し讀經供養を爲し一日午前八時大連發列車にて奉天に向け出發し奉天にて解散歸還するのである

四國政府に
◆發したる露國の抗議◆

莫斯科發電報に依るに勞農政府を代表して外務執政官は莫斯科に於ける英佛米三國代表者に次の公文を送りたり曰く『外務執政官は西伯利に於て勞農政府に反抗せんとする陰謀の發見に關する書類を貴下を通して英國政府に送致するの光榮を有す、發見されたる書類に據れば右陰謀事件は浦鹽斯德に於ける英米佛領事等の之に關聯せる事實は爭ひ難き事並に北京に於ける是等の國の外交代表者が西伯利政府と稱する反革命團體と關係する事を立證せり而して勞農政府の提議する處は次の如し(一)能ふ限り且つ遲滯なく浦港駐剳の英國領事を本國に召還せられたき事(二)能ふ限り且つ遲滯なく北京に於ける英國公使が反革命的陰謀に關係したりとの說に對し明確に調査せられたき事(三)英國政府が露西亞聯邦共和國に對し其の代表者が斯の如き疑はしき關係に立入らず露國の内政に干渉せざる事を宣明せられたき事』右は英國側に送られたるものなるが同一の公文は米佛兩國代表者にも送致せられたり而して之と同時に外務執政官は勞農政府を代表し在莫斯科日本代表者にも公文を送りたり(哈爾賓)

露都の安危
◆防禦準備とシユ將軍◆

莫斯科發の電報に據るに前日同所の軍事委員會に於て會議されたるペトログラードの防禦に就て熟議したる處ありたり即ちトロツキー氏長はペトログラードには戰鬪の行はれざるべきを告げたるがペトログラードより來りたるシユワール將軍はペトログラードの防禦準備は既に完了したりと然れども同將軍はペトログラードの危險を豫期し居るも心配すべき必要なしと此の討議には莫斯科軍管區司令官イヨゼリヨウイチ將軍、アリツフアーテル提督、ブルウエウイチ、ポヅウオイスキー、ラデークの諸將軍參加しペトログラードの防禦はシユワールツ將軍並にベレンス提督の手に委任に決す同夜シユワールツ將軍は直ちにペトログラードに赴きたりと(哈爾賓)

初漁＝平北

平安北道本年初合漁業は漸く其時期に入り四月二十六日香川縣津田町の手操漁船十五隻大連より龍岩浦に入港し内一隻は直に出漁に從事し二十八日朝歸浦せるが其の漁獲物は金頭、鮃、鰈等にて同日同地伊奈佐商會新築市場に於て初糶御祝儀商ひをなしたるが尚龍岩浦在住漁船も二十七日九隻大和島沖合に向ひ引續き日々出漁船增加し居れば茲一兩日中には鮟鱇網漁獲物にて新義州、安東、龍岩浦等の市場は活氣を呈すべしと(平北)

◉明太魚高し
本年北鮮地方の明太漁は各地共不漁にして近く漁期の終りを告げんとしつゝあるが今日の豫想にては本年明太網漁獲高は約二萬駄にして之を例年の漁獲高の六萬駄内外に比すれば約三分の一に過ぎず斯の如き有樣なるを以て相場は自然高値を唱へ昨今一駄三十圓內外にて取引されつゝある乾明太尙ほ本年の明太は殆んど全部廣盛商會に於て買收せりと(淸津)

密造で奇利
◆罌粟栽培の取締勵行◆

咸北道國境茂山郡地方鮮人は夏季山林中等に密に罌粟を栽培し之れより阿片煙を製造し之を支那人に密賣して奇利を占め居れるが此の罌粟栽培は頗る有利の事業なるより其筋に於て嚴重に取締り犯行者は嚴罰するに係らず犯行者多く昨年の如きは

數百人の犯罪者
を出すの有樣なりしが咸北警務部にては今回之に鑑みる所あり警務部令を以て罌粟栽培取締規則を發布せるが右規則概要は(一)乳液採取の目的を以て罌粟を栽培せんとするものは本籍、住所、氏名、生年月日、栽培の場所、栽培面積を具し所轄警察署長又は憲兵分隊を經由し警務部長に

願出で許可を受く
べく(二)乳液を採取せんとする時は着手三日以前に其旨を又た採收を終りたる時は三日以內に其數量を警察署長に屆出づべく(三)乳液を讓渡さんとする時は引渡前其數量價格讓受の目的を具し讓受人と連署の上警察署長に屆出づべし、(四)警察署長は罌粟栽培者に對し取締上必要なる命令を爲す事を得る等を規定せる者なるが右の中

乳液を讓渡さんと
する時は引渡前其數量、價格、讓受の目的を具し讓受人と連署の上警察署長に屆出づべしとあるを以て採取したる乳液は單に屆出を爲せば何人にても自由に交付するを得るが如く解せんものあらんも右は引渡前に於て屆出するを要し而して讓受の目的は

必ず藥劑師又は
製藥者等相當資格を有するものが製藥原料と爲す場合或は此等の有資格者に轉賣するものたる事の要件を具備せざるべからざるものにして若し此の目的に反する時は警察署長は命令を以て其の引渡を禁ずる事あるべく尙ほ乳液採取の目的を以てするに非らざる罌粟栽培者に對しても必要ありと認めたる時は警察署長は命令を爲す事を得るものにて其栽培が賞翫の爲めなると否とを問はず栽培の地、栽培方法、面積等にして適當ならざるか又は乳液採取の疑ひありと認むる場合は相當なる命令を爲す事あるべしと(淸津)

◉營口運動會
營口滿鐵各係にては來る十九日の日曜日を卜し聯合運動會を開催することゝなり各主任協議の結果左の如く委員を選擧したり
委員長(岡崎驛長)競技委員長(綾部技術員)新雜務係(西岡貨物主任)接待係長(新井副長)高島會計主任(學務委員)設備委員長(岡崎驛長)

◉中學生登山
大連中學校にては四日午前六時二十分大連發混合列車にて金州に赴き同地和尙山に登山し午後七時十三分金州發列車にて大連歸省の筈にて實に同中學校第一回の遠足旅行なり(大連)

◉米國人の手にて葉煙草の買占
◆慶尙南道より米國へ輸出◆

近來米國商人の手にて慶尙南道各地産の葉煙草買占を行ひつゝありて是等米國人中の一二の者は馬山に居をトして半永久的の居住をなし居れるが馬山の目賀田商會は米人三名と協力して慶南各地の葉煙草買入に著手し既に約四萬圓の葉煙草を買入れたるが之れが仕向地は神戸に積出し同港米國商館の手によりて米國へ直輸出せらるゝものなりといへり(馬山)

◉あはれに優しく
別れの歌を唄つて曰く
去るも止まるも心は一つ

忠南の鎭岩里には從來公立尋常小學校が一つあつて此の小學校へは錦江の河向ふなる扶餘居住者の兒女も通つてゐたが何分大きな河を一つ隔つてゐるので不便であると云ふ所から今度扶餘にも公立尋常小學校を設立して扶餘の兒童を此の方へ分離する事にした、そこで鎭岩里小學校の生徒は是まで八十一人であつたが扶餘の兒童二十九名が分離する事になつたので五十二名となつた、さうして其の分離式を去る四月十日鎭岩里小學校で行つた。當日は川岸鎭岩里、杉鎭岩里、土井扶餘兩校長は勿論、土井扶餘兩學校組合管理者、倉岡主任、兩組合評議員が列席し、土井管理者は起つて一場の訓辭を述べたが繁涙共に下つて場の人々を感動せしめた。それから分離の唱歌を作り之を普通學校敎科書中の卒業式の譜によつて歌ふ事にした分離すべき扶餘の兒童は唄つた
(一)御惠み深き師の御敎へ、心に彫りて忘るまじ、年月睦みし友、よしみはいつか忘らるべき。
鎭岩里の兒童は歌つて曰く。
(二)朝夕むつみ學びたりし、我等が友を今日は送る。江の東西分るとも、友情は永く變るまじ
(三)とまるも去るも悲しく共、同じき庭に學びし友、いざ〲共に聲を合せ、歌ひ別れん、さらば〲。
此のあどけない別れの歌を聽て一同何れも感に打たれ中に眼をしばだいてゐた母姉もあつた(扶餘)

◉寧遠の溫泉
諸病に特効あり
◆寧遠溫泉◆

平安南道寧遠郡內溫泉及び鑛泉左の如し

◇位置 此の溫泉は安咸道路上溫和面溫陽里に在り安州より三十五里三十四丁价川より二十七里六丁德川より十七里三十一丁、咸興より二十七里八丁、寧遠より十一里四丁、社倉より二里十八丁也

◇發見 此の溫泉は今を去る凡そ五百年前の發見にして山麓より湧出し浴舍に流れ込み餘流は前方溫泉江に注ぐ最初は此所に入浴小屋を作り漸次年を經るに從ひ改造を加へ現今に於ては都用の浴場大浴槽六個を設け最南方(第一號)は病女、次(二號)は健女、中央南方(三號)は面用、次(五號)は健男、北方(六號)は病男に使用せり

◇溫泉 の溫度は湯元に於て攝氏四十八度內外其の湧出量一日三千五百九十二石にして溫度湧出量共に四季の變化なし

◇水質 は無色透明無臭を稱へ居れるも僅少の臭氣あり(其臭氣は鷄卵の白身に熱湯を注ぎたるものと彷彿たる臭なり)比重一、〇〇三にて中性反應を呈す含有成分は(瓦斯)炭酸瓦斯(鹽類)硫酸ナトリウム(痕跡)硫酸カルシウム(僅微)硫酸亞酸化鐵(痕跡)クロールナトリウム、クロールカリウム(痕跡)クロール石灰(僅微)炭酸石灰

◇効能 此の溫泉の効能は左の如し
▲消化器病▲慢性皮膚病▲生殖器病▲婦人病▲痔疾▲僂麻質斯病▲傷病▲花柳病其他各種何れにも効果顯著にして殊に胃腸病及重病の快復期に於て最も好適なるが如し

◇來浴者 郡內の人民は勿論他郡の者多く就中成川、咸興、南道孟山、順川、价川、德川郡、平安永興、定平、長津、洪原、北靑郡、平安北道煕川、寧邊郡の者最も多し來浴者數は四、五月及九、十月多し

◇外に 猶右溫泉場より約百二三十間東南方溫泉江の東岸(左岸)に少量の湧湯するもの一箇所あり

◇冷泉 横川里冷泉は德化面横川里冷井谷(無名山麓)に湧出す、此冷泉は大正五年五月十一日平安南道警務部技手前山專一氏の手に分析試驗を行はれたる硫黃泉にして之を飲用せば左の諸効ありと
(一)腸胃不良、慢性便秘、慢性胃腸加答兒(二)子宮病、痔疾、淋病、疹疾等

坊ちやん孃ちやん達のため
お伽噺の會を開きます

日頃我京城日報を愛讀して下さる少年少女達の爲めに本社は何とかしてお禮を申し度いと考へ中でありましたが愈々今回京日お伽會を新設毎月數回面白くてお腹を抱へて笑ふ中にお爲めになるお伽噺をお聽かせする事に致しました、その第一回講演會を日曜日でさうして節句の五月五日左の通り開く事になりましたから坊ちやん孃ちやん是非お出で下さい

京日お伽講演會
講師　龍山涙光先生
演題　◆孔雀鳩◆浮れヴアヰオリン◆姉と妹
開會時日　五月五日(日曜日)午後一時
場所　市內日の出小學校講堂にて
京城日報社
地方巡回講演は追つて發表いたします

縞セル 一反只の二圓卅錢
東京市日本橋區木石町一丁目呉服問屋開谷商店にて今回三千有余反の新柄縞セル地を引取たるが品質優等品なるも都合上只の如き直段一反タツタ乙號二圓三十錢甲號三圓三十錢別製品五圓三十錢と云ふ法外の安値にて賣始めたが一見十圓以上の本セルと何等撰ぶなき新柄セル地なれば忽ち湧くが如き好評にて日々多數に賣れ行きつゝあり且つ同店は地方部設置七週年に相當する紀念として自然十八金色指輪を一反の注文毎に一個宛無代進呈をなすと云ふ因に希望者は葉書にて男女別年齢を記しハガキにて申込めば色柄見本切に見計らひ送料も當方持で送るとの事

乳の出る妙藥發見!!
産後乳出なく又は平素不足な程氣の毒な母親の身にとつては何にも云ふ事はない況して兒供を育てるには一層困難です牛乳ミルク等で育てるには手數が並大抵でありません又腹氣になるにつれ腐敗し易く赤兒の胃と腸を惡くしだん〲痩る一方です、ですから赤兒を育てるには達者な母親の乳に限ると一般の大醫方が云はれて居ります世の中に産後乳出なくて困り近所で貰ひ乳したり牛乳とかミルクで代用し難儀して居られる方は一時も早く(ハガキ)にて申込になれば今回苦心の上發見になる不思議によく出る藥の委しい說明書を送る。
大阪東區東雲町停留所前　いづみ屋

りん病七日藥
麻除 ●慢性淋病●急性淋病●女子淋病●膀胱加答兒●睾丸炎●尿道狹搾 麻除はいやでも治る奇藥也
七日分只一圓 服用せよ說明書送呈す
大阪堺筋八幡筋北　山口藥院

濟經新藥レスノリン 月經
確實の月經閉止四五ケ月以內に容易く應用の目的を達し得られ他の藥に見ざる効果を有す藥價一瓶壹圓廿錢 送料三十錢 海外切手一割增 說明書呈
大阪北區曾根崎上一丁目三六 發行所 常盤藥院

看護婦募集
規則書御申越次第送る 京城より當地迄旅費支給す
大連市西公園町三六電話三〇八　遼東看護婦會

中風病 ちうき
余が家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したる遺傳系統に其悲き實驗によりて良藥を得たり全國の中風病者に試驗分與一千人に限る 呈す 詳細記入し
兵庫縣明石中町　加古忠兵衛

陸軍拂下 並に諸官衙品 下切品 防拂 京城府漢江通三電話長三三六番 佐藤古着店

コロタイプ印刷 繪葉書製造、諸記念寫眞帖 龍山漢江通八(電話五三六番) 門田寫眞製版所

欅賣却 欅建築材車輪材看板用 各種多數入荷に付特別安價にて賣却仕候間多少共御用命の程奉願上候 京城黃金町四丁目角一九〇 建築業 深堀元市

新田帶革 朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行 京城南大門外 白神洋行支店 (定價表申込次第送呈)

新流行帽子
春向 ソフト 中折帽子 金二圓より 金六圓迄
パナマ帽子 金一圓より 五圓八十五錢迄

▲鳥打帽其他最新形 澤山
▲送料 鮮內十二錢外三十錢
◉御取揃へ居り候 御注文の際は柄向(縞とか無地など)色合御嗜好及價格頭廻り寸法御申越被下候はゞ必ず適當の品見計ひ御送付可申上候
京城太平通 京城日報代理部 電話構內十八番 振替京城三〇〇番

質 倉庫完全 價格勉強 京城櫻井町二丁目 杉本質店 電話二一〇三番

京城古市町電話二七四六番 硝子工場 硝子類 主 畑中六一 人蔘エキス瓶 其他一般の御注文に可應候

男のひみつ病
最高名譽大金牌 專賣特許 東京順天堂病院初め多數博士御證明 手島式眞空療法器 自宅で簡單に病氣を治す 東京京橋本材木町三ノ廿五 東京新療法研究所 大阪市北區北森町一番地 大阪新療法研究所 京都市烏丸通り魚ノ棚下ル 京都新療法研究所 京城本町二丁目浦尾旅館前 朝鮮新療法研究所
包皮手術の頗る有効の全水合療法も行はれ生殖器不完全機能障害急慢性病に治す ハガキで申込說明書無代進呈 他と優劣の比較を希ふ

胃腸病とタラコン
普通胃腸の藥は只だ其時限りの消化を助け無理に胃液の分泌を促し又は胃液を中和するだけですが此タラコンは弛緩だ胃腸の筋を引締めて其活動を順調にし胃液を整へ消化を十分にして吸收を好くし本統に健全な身體となります急性慢性の胃腸加答兒胃腸アトニー胃擴張、胃痙攣、常習便秘、常習下痢、胃癌、胃潰瘍等何くも胃腸病に苦む方は是非御試し被下タラの一種峻烈なる刺戟は如何に頑固な長年の胃腸病でも靈驗卓効があります
○散藥九十錢一圓二圓 一週間分九十錢 送料八錢 海外卅錢
本舖 東京小石川富坂町廿 無量壽藥園 (電話小石川二九五六 振替東京二〇〇二二)

京城本町二丁目(郵便局前) 電話二一六番
內外科 小兒科 花柳病 高井醫院 院長 醫學士 高井貞治 副院長 千葉醫學士 松崎正彥 診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄

清心丹 東京日本橋元大坂町 高木與兵衛 懷中要藥
氣分を爽にし 船車の不快、過酒食、嘔吐 下痢、時候アタリの豫防藥 胃腸を健にし消化を進め 赤痢、コレラ、腸チフス等の豫防となる

專賣特許既願 山林果樹園藝用害蟲驅除劑 シーエス液 松毛蟲に特効あり 說明書御申込次第送附 製造發賣元 京城旭町一丁目 山田商店 電話一〇 振替京城三二九七 龍山電話四二四番

人事百般周旋業 京城府明治町二丁目 電話長一八四四番 萬年社

腦神經病特効藥 健腦丸 專賣特許 醫學博士證明 腦病良藥 KENNOGWAN
キット効驗現る! 一週分を試みよ!
腦、神經衰弱症 大酒家、喫煙家、常に頭腦を過勞する人々よ。常用せば怖る可き中風卒中を未發に防ぎ便通を快し記憶力を增進す
主効 ▲腦充血 ▲逆上 ▲頭痛 ▲腦膜炎 ▲耳鳴 ▲鬱憂 ▲神經痛 ▲眩暈 ▲健忘 ▲腦卒中 ▲不眠 ▲便秘
一週分五十錢 二週分一圓 四週分一圓九十錢 全國各藥店に販賣 送料十錢
本舖 丹平商會

外科花柳病 內科婦人病 入院隨意 醫學士 齋勇 醫士 齋豐次 京城本町五丁目稻荷座前 電話二〇一二番 大和病院

塚原卜傳

第六十三席　悟軒道玉口演

神宮藤田權頭を引立て牢獄へ打込んで置きまして、愈々來る廿日笠間の松原に於て權頭を磔刑に行ふといふ事を態と諸方へ觸れ歩きました、是を聞いて、百姓町人泪を流して○『ヤレ〳〵お可愛相に大杉樣の神官の藤田さん、誠に結構な御方だが、惡い奴は彈正だ、此前土佐守樣を殺し、又權頭樣まで召捕つて磔刑に上るといふ、悲しい事をしたものだ、マア塚原のお家には飛んでもない災難が掛つた、御兄弟揃ひも揃つて非業の御最期をなさるは氣の毒だ』『お可愛相だと云つた所で何うする事も出來ないといつて居りましたが、愈々十日當日になりまするど、笠間の松原へ竹矢來を結廻し、出役した遠藤五平次、柏木一角、蓮沼傳藏、鵜見新之丞、服部大覺、中川文六、其他大勢の役人共非常をしめて居りまする、處へ馬にて引廻されて來た藤田權頭、一體が虚弱な人で、牢内へ打込まれて居りまして、非常に疲勞をいたし、日代は延び髯は蓬々として目は窪み頬はこけ、見るも痛はしき有樣、竹矢來の中へ這入り、磔刑柱に縛り付けられた、昔は隨分慘酷な事をいたしたもので、磔刑、牛裂、焙、鋸引、釜茹などゝいふ大變な處刑があつたものでございます、されば是れを聞傳へて何處から集まつて來たともなく自然に百姓町人など竹矢來の周圍を取り巻き○『ヤレ〳〵大杉樣の神主さんは愈々今日お處刑になる、お可哀相な事だ氣の毒な事だ』『せめて念佛でも唱へて上げませう』と見物の中で念佛を唱へる者もあり又題目を唱へて居る者もございます、處が遠藤五平次に於ては早く藤田權頭を殺さないと云ふに、權頭に深い罪はない、是を餌にして塚原勝義を引出さうといふ、夫れが爲めに前方から態と世間へ處刑の當日を吹聽して、權頭を磔刑柱へ縛付け、今に塚原小太郎勝義が出て來るだらうといふ考へ果せる哉、塚原勝義が此處へ乘込み來りまする、お話は跡へ戻りまして小太郎は秋山伴作、弟熊吉の二人に助けられて、石牢を打破り小田原の城を逃し、石徹の山中で熊吉に暇を遣はし眞佃の磯右衛門方へ返して、跡は小太郎主從姿を變へ、故郷へ乘込んで父兄の敵佐竹彈正左衛門を討取らうと國表へ引返して樣子を聞くと、伯父の藤田權頭が召捕になつて、笠間の松原に於て磔刑に掛けられるとの事、主從顏を見合せて、憎んでも飽足らぬ佐竹彈正、是非伯父を助けねばならぬと、茲で大急ぎに急いで乘込んだ笠間の松原、遙かに彼方を見ると伯父の權頭は磔刑柱に縛られ其前に鎗を持つて二人の小役人、今や突かんとする間一髮、拔こそ伯父の一大事と只一文字に走來つた小太郎勝義『逆賊、待てッ』と呼はりながら忽ち身を跳らせると見ゐたるが、竹矢來をポンと飛越ゑパラッ〳〵と蒐け寄つて磔刑柱の此方へ來り拔手も見せず槍を持つたる一人を大袈裟掛けに斬つて落し、今一人の手許へ飛込み横に拂つた一文字、水も堪らず首は宙天に舞上つた、血振をなした一刀を執つて磔刑柱を小楯に取り、大音を揚げたる事にして小『ヤア〳〵汝等能ッく承はれ、塚原土佐守の次男、同姓小太郎勝義、只今伯父の權頭を助ける、不義非道の彈正の家來共、速に其所を退散いたさば宜し、異議に及べば片ッ端から細首打放すに依つて覺悟いたせ』と呼はる時に、遠藤五平次カラ〳〵と打笑ひ　五『來たな小太郎大方斯うだらうと手具脛ひいて待て居た、我等が思ふ壺へ飛び込んだ上からは逃げようとも逃しはいたさんぞ、汝が首は申受けた覺悟いたせ』、ソレ方々勝義を討取れ』さてこそ茲に大騒動が惹起いたしますが果して權頭を助け小太郎の身も無事でございますか又如何なる災難に遭遇いたしますか、此からが一問題……

旅行中の處歸京從前の通り診療に從事致し候
内科 小兒科　女醫　川崎朋子
京城明治町二(電話長一五〇四番)

暦

五月四日　九星　舊三月廿四日　辛亥　本命六白　乾　危　友引

▲六白● 不挨拶の小有日常事見合南方は吉　乾▲七赤● 盛んなる日……　▲八白● 大に……　▲九紫● 不沛の事有日……　▲一白● ……　▲二黒● ……　▲三碧● 他な事有日……　▲四● ……　▲五黄● 大願叶日……の日

人參エキス
京城本町壹(電話一八〇〇八〇七番)
津村兄弟商會

日本一　最上清酢　マルカン印
ほまれ味噌
日本醬油株式會社　京城出張所　電話二四五番

演藝案內

黃金館　電話二三六三七・二三六八
▲滑稽 眞夜中頃　▲新派悲劇『殘る母娘』……　▲人情活劇『母の愛』……

◎新講談の大家　神田伯道　今晩より開演　(前席浪花節出演)　浪花館

壽館　京城本町　電話一〇五〇
當る五月四日午後六時より　筑前琵琶演奏會
▲小督局　▲赤垣源藏　▲南部坂　▲村上喜劍　▲高田馬場　▲芳流閣　▲橘中佐　▲山ノ內一豐　▲川中島　……
▲入場無料下足料五

有樂館　中川演藝部　活動寫眞常設館
當る五月二日より公開 ▲滑稽『歡喜の失敗』　▲實寫……　◎猛獸活劇『女丈夫』全三卷　南アフリカ……　◎藝術劇『質屋の娘』全五卷……

浪花館　京城電話二六〇
▲新講談 神田伯道……▲語り種々(三福亭……)▲寬政……▲家庭……大久保利……暗殺……▲壯士之鐵腕、星亨……(伯道)
●入場料は今回に限り破格金拾五錢

大正館　京城櫻井町　電話八七三
當る五月三日より大寫眞提供……▲大滑稽『コンクリン墮落』全二卷　◎新派悲劇『吉丁字』全三卷　◎冒險活劇『森の奇人』八千呎……

稻荷座　京城下町五丁目　電話二〇二八
浪花節……

外科 花柳病專門　梅毒 痳病 睪丸病 橫痃 婦人病 泌尿生殖器病……　京城南大門通　司生堂醫院　電話三六五番

鰹節　銘茶　淺草海苔　東京澤庵　正印　仁川　青嶋商店　電話七〇九番　振替京城一七〇番

りん病　ハルナリン　……　京城黃金町三……

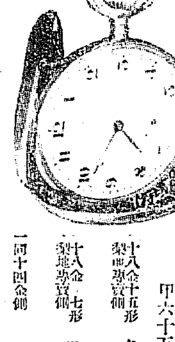
男寿普紙……東京芝三光町　春秋庵

支配人　各地代理店報す　東京本郷區湯島六ノ一五……

大日本優等清酒　ハクツル　品質純良　衛生無害

釀造元 嘉納合名會社　攝津灘御影町
發賣元 前田酒店　京城本町二丁目廿番地　電話一三七 振替口座四三五

內科 小兒科 皮膚科 梅毒科 外科一般 婦人病 花柳病
朝鮮診療病院(入院隨意)　京城黃金町二丁目(長橋通角)(電話二八三七番)


十八金十七形(十二サイズ)アメリカウォルサム會社特製機械 甲六十五圓 乙五十五圓
十八金十五形 タバンス會社製 金四十五圓
十八金十七形 エルジン會社製 金四十五圓
一同十四金側 金三十八圓
賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城二〇〇番 京城日報社代理部

イケダ小兒病內科醫院　池田季雄
京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話(病院一二三四番 自宅二〇〇〇番)

優等清酒

永樂町二丁目　發賣元　本莊酒店　電話六五 振替京城二六四〇番

京城南山町三丁目(電氣會社横路入る)電話二九二〇番
橋本齒科醫院
日本齒科醫學士　橋本清次郎

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城　電話(振替貯金口座 京城三三三番)
支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、鎭南浦、長春、開原、四平街、公主嶺、奉天、大連、青島、傅家甸、龍井村、鄭家屯、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓
出張所 右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

京城西小門町二一番地
田中丸病院
院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫
電話八八五番
〔入院隨意〕普通病室隔離病室の設備あり

蠅退治
蠅の良法は只此一法あるのみ!!
ST式固形石油乳劑を使用して蠅の蛆を撲滅せられよ!!
一打二十八錢　半打十五錢　送料實費
大阪賣所 京城太平通電話長三二六 橋內一八番振替京城三〇〇　京城日報社代理部

朝鮮鑛石鑑定採鑛法　芝原四郎著　四六判　二百五十頁　定價一圓貳十錢　送料六錢
朝鮮藥草　漢方案料植物調査書　朝鮮總督府編　四六判洋裝　定價九十錢　送料四錢
學生諸君……御待兼の入學試驗問題賣切れ……買ふて入學の榮を得られん事を
朝鮮中學校・商業學校・高等女學校・高等普通學校　入學試驗問題答案集　四六判二百餘頁　定價金五拾錢　送料四錢
朝鮮學術研究會編　發行所 京城本町二丁目 電話二三三七 振替二五二三七　ウツボヤ書籍店

米國製 十四金ペン 特殊創案 自働インキ含裝置『パインビジネス』ペン　定價金壹圓九十五錢

造步的經濟的文房具の需要に加はり平常使用の『ペン』先に金製のものを使用するの最も適切なる『ペン』先を裝する軸エボナイト製にて此の金ペン』の背後に密接する『インキ』を含ますれば宜く數頁の使用に耐ゆる耐久力なり……特殊創案の筱入物によりて金ペン先の使用……各銀行、會社、官廳陸續より御用あり

大學目薬

「內外各處に賞用せられ効能最も卓越せるは本劑なり
大學目藥は帝國醫科大學病院の處方に基づきし貴重なる製劑にしてはやり目●星目●トラホーム●のぼせ目●疲目其の外眼病一切に驚くべき治効あり▲十歲以下の小兒の爲めに別に小兒用大學目藥あり
大阪　合資會社　參天堂藥房　發行

汽車　京釜線(南行)……(北行)……京仁線(仁川行)……京元線(北行)……(南行)……

京城日報
五月三日朝刊（朝夕刊を併せて八頁）
定價　本紙一部金五錢　一ヶ月金一圓（前金）
廣告料金
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社
發行兼編輯人　小川三之介　印刷人　奧山道殺

露領の無政府狀態

京城日報

昨年以來露西亞國內無政府狀態を現はし、假政府に續くに過激派政府を以てするも、政府といふは名のみにして、其實は國土を統治するの力なく、只僅かに言論の力に依りて、自ら其存在を示すといふに止まる。大凡人世の不幸無政府より甚だしきはなく、西人の諺に暴君虐王あるは猶無きに優ると云へるは、則ち此眞相を道破せるものに外ならずして、露國革命以後の混雜に乘じて權勢を握り、威福を張るところの若干人は、有頂天の大得意なるべしと雖も、大多數の國民は、これが爲めに塗炭の苦みに陷りつゝあり。

初め革命騷動勃發するや、首府ペトログラード先づ無政府狀態を呈し、其より移りて莫斯科亦無政府狀態となり、漸次東に移りて、今は則ち東西伯利の狀態最も混亂を極む。當初東西伯利人民は、甚だ過激派政府を喜ばず、自ら自治組織を成して獨立すべき企てを爲したれども、既にして過激派勢力東漸し來り、反過激派なるものは常に其壓迫を受け、今猶ほ紛紜を重ね、且一時獨逸墺匈國俘虜の西伯利にあるもの、露獨講和に依りて解放せられ、遂に武裝して大暴を企てたりといふ風評ありたれども、獨逸は今方に佛白戰線に於て死活を賭して大奮鬪を續く、其の最も急須とする所は兵員なれば、若し露國內に在るところの獨墺人にして用ふべき者あらば、直ちに之を西部に移して、其の及ばざるを補ふべき道理なり、豈復た其を武裝せしめたるまゝ、其の極東に施漫蟠桓するを許すべけむや、只獨墺俘虜の露國に在る者の多くは、夙とに無政府主義、社會主義に感染し、就中東領に在るものは、過激派の宣傳に依りて、非戰主義非資本制主義を取り、彼等は却て其の國に還りて、應に之を其國民に宣傳すべきことを主張しつゝありと云へば、獨墺俘虜は即ち遂に獨墺自身の腹心の病たらむとす、而して此種非國家的思想亦實に露國の無政府狀態の產物なり。

今春以來、浦鹽斯德其る事變頻々、近頃イル於ける我副領事を拘引しふるあり、露西亞人は其他にて、亂暴狼藉を事とするのらず、其友邦の官民に對して無法なる暴行を敢てするは、甚だ奇怪千萬なり、併しながら固と是れ無政府狀態の下に棲息する所のものなり、其心理狀態は既に尋常にあらず、且人の逆境に在るものは不平苦惱の餘り、遂に他人に對して「猜忌嫉妬怨恨嫌惡」を懷き易く、これが爲めに意外なる大失策を演ずることあり、從つて一たび同情を寄せたる者も、其不心得なるに呆れて、之を見捨るに至ることもこれ無しとせざれども、常態心理を有つものにして、變態心理を懷くものに臨む、寧ろ其變態に陷りたる原因を稽へて、其の不幸を憫まざるべからず、近時東部西伯利甚だ多事なるは、則ち此種無政府狀態に伴ふところの現象に外ならずして、關係國民皆隱忍寬容以て其大勢の定まるを待つ所以亦此に存す。

露國の擾亂と戰局の前途（四）

高柳少將談

而して日本では露西亞は恰も亂麻の如しと云ふ風に考へて居る者が多いやうであるけれども決して亂麻ではない、警察制度も相當にあり、司法權も確立して居る、國民の生活も靜肅にせられて居る、總ての秩序も相當、革命らしくやつて居る、平生と違つて追剝强盜が多い、夜中に外を步くのが危險だと云ふことはあらうが、露西亞國としては決して滅茶苦茶ではない、國民は今レニンの自由共產主義に醉つて居る最中であるが、それが自分の要求に十分副はない、土地の分配も甘く行かぬ、又元の通りになつたと云ふやうな場合になつて露西亞の健全なる團體が確立するか或は反革命派に銃と劍を取つて立つ者が出ない以上は露西亞の現狀は何時迄も暫く繼續するものと思ふ、然らば露西亞の現狀は何時迄續くかと云ふとは今斷言は出來ないが、今日露西亞に向つて仕事をしようとする者は此呼吸を諒つてやることが大切であると思ふ。

此革命は元々平和主義を標榜したものであるから今日單獨講和したと云ふことは何も不思議ではない、聯合國の爲には遺憾であるが勢ひの然らしむる所、到底如何ともすることは出來ない。然らば露西亞の今日の狀態は聯合與國に對して如何なる影響を與へるか、之に就てはレニンあたりは露西亞の大國にして一度戰爭終結を叫ぶならば恐らくは各國一齊に之に應ずるであらう。又獨逸の社會黨は恐らくは此平和主義の叫びを受けて忽ち平和の促進を計るであらうと考へて居つたに相違ない之は彼の言動に十分現はれて居ることである。所が一度び單獨講和を結んでも聯合國は戰を止めない獨逸の社會黨はレニンの精神を謳歌しない。却つて聯合國からは手を離され、敵國からは非常なる壓迫を受けて窮迫爲す所を知らぬと云ふ狀態になつて居る

鮮滿在鄉軍人會に望む（五）

帝國在鄉軍人會理事　永沼中將講演

斯く世間より重きを置かるゝに及んで軍人會員は自己の責任の重きを自覺して一層努力する樣になつて來た。そこで

△兩々相待つて　地方の人々と會員自身との結合が鞏固になり會が順調に發達し、大變仕事がやりよくなつて來た、而かも斯かる氣運は田舍の方面のみならず都會の地にまで段々及んで東京あたりでもさう云ふ狀況を目擊するのである、事實自分が二月初旬東京の眞中の而かも神田區內で軍人分會の總會があるから是非出席して何か話をして吳れとの事に行つて見たのであるが、東京の街の分會の事であるからさぞ理窟が多く、話を聽く事許りが好きで、實行はせぬと云ふ連中であらうと豫想して行つたが、實際は全く其の反對で分會として一萬圓近くも投じて建築した會場を有つて居り會員は暇があるとそこに集つて書物を讀んだり、武道を勵んだりして居る。其の時の

△講演者は自分の外に一人あつた、それは神田區の人であつたが時間の都合上私より前に演說をしたいと云ふので、私承諾を與へると直ちに演壇に立つた、此の人は東京市の市會議員で市參事會員を兼ね而かも職業が辯護士である、四五年前の軍人會、除り世に認められない時代であるならば軍人會などに顏を出しさうもない人柄である、其の演題は忘れもしない『歐羅巴戰爭に基づく二大敎訓』と云ふ題下に滔々として述べられた、其の敎訓として述べられた事は軍人當局者以外の觀察であるが素人の觀察としては大體適當な事を述べられた、そして結論に至つて『但は滿場の諸君にお願ひする今や神田區の公共的事業は神田區民が自己の責任としてやらねばならぬ、之が爲にはどうしても諸君の

△充分なる奮鬪を願はなければ區其もの、開發も出來ないのである。歐羅巴戰爭に基づく敎訓としても在鄉軍人會の努力は頗る必要であるけれども、夫れよりも以上に諸君の努力如何は直接神田區の盛衰に重大なる關係を有する事であるから、どうか神田區民にして而して在鄉軍人たる諸君はしつかり結束して區の爲に充分にお働きを願ひ度い』と頭を下げん許りに賴んだ。隨分理窟つぽさうな人柄であるにも拘らず、さう云ふ風に結論を附けた。

戰時の米國

紐育より第二信（三月七日）　切田太郎

△第三回自由公債　四月六日募集開始の第三回自由公債は約五十億弗の豫測なりしが今回愈々大藏省の發表する處を見るに三千億弗にして利率も四分五厘の豫想に反して四分の一と決定仕り是れ商國への貸附及び米國の經費が豫定より少なかりしが爲めにて大藏省現在の規定によれば三十六億弗の債券を發行し得べきも尙四十五億弗に增加するの提議を以て議會の協贊を求むべく第三回自由公債募集後尙ほ五十億弗の發行權を有する筈なりと傳聞致候

△獨飛行隊組織要請　獨軍二十一日拂曉よりの大活動は七十五哩の遠距離に達すべき巨砲にて猛烈に巴里を襲擊しつゝあるの報時々刻々當地に傳はり、新聞號外の賣高爲めに倍に上り申候此時に際し俄かに獨逸は紐育沿岸攻擊用の潜航艇を造り一時間百四十哩の快速力にて百五十封度の爆彈を搭載する飛行機十五臺を積み來り紐育を距る三百哩の海上より米國を攻擊すべく準備中なりとの飛報傳はり强ち風說視も不致候と申す譯にも參らず地瓦斯電氣諸會社の如きは之に對し已に二億弗の保險を會社に申出で決定せりとの事に候

△輸入禁止品目の發表　豫て噂有之候如く三月二十二日戰時通商局は金屬品、食料品、奢侈品等八十二種に亘り四月十五日前に正式に許可を得て實際積出したるものを除き一切輸入禁止を爲すべしとの命令を發布し其第一品目を公示仕候右の品目中には美術品、玩具、木綿製品、燐寸等もあれば本邦貿易商間には大恐慌の有樣に候幸ひに生絲、茶等は右品目中に含まれ居らざれば安堵し居る者有之候へ共未だ公表せられざる第二表、第三表以下には何が現はるゝか俄かに樂觀致し難く候尤も日本人は兎角種々なる想像を逞うし徒らに論ずるの風あれど平素の準備肝腎に候右の如き禁制あるべきは昨冬小生歸鮮の節、東京並に京城にても警告せし處小生節は所謂大商「マサカ」など、冷笑せし所、有之候ひき呵々

朝鮮の特色を保護せよ

槐翁

◎近來文明の進步と共に、朝鮮も物質的方面に一大革命を促進して來るのは、時勢の然らしむる所で到底免るべからざるところなるも、その影響として、朝鮮古來の趣味までも、一掃し去らんとするの傾向あるは、啻に吾人の贊同し得ざるのみならず、誠に遺憾千萬のことゝ謂はねばならぬ。

◎朝鮮に於ける文物制度は、積年惡政の結果として、改良革新を要するもの、非常に多いことは、吾人の多言を要せざる所なるも、さりとてその悉くが惡いとは申されぬ。吾人の見る處に依れば、幾多の保存すべきものがあつて、而かもそのものは、朝鮮人以外のものには、模倣も出來ぬ一種の趣味を有するものを申すべき特色が備はつて居るものである。

◎その一例を擧ぐれば、朝鮮の建築物である。その落付きがあつて、古致に富める點に至つては、日本支那、西洋と各々一種の特色を持つて居る樣に他の何ものも犯すことの出來ぬ一種の朝鮮趣味たるを失はぬのである。近來識者の間にも、多少之を注ぐやうになりつゝあることは誠に喜ばしいことで、その持主たる朝鮮人は、口徒らに文明を模倣せんとするの急であつて、古來の建築物として吾人の愛惜するものは、幾年ならずして破壞し去らるゝの虞なきにしもあらず、竊かに遺憾に禁へぬ次第である。

◎聞く處に依れば、朝鮮趣味の保存に心情を碎きつゝある鎮南浦の舊家富田儀作翁は、數年前より三和高麗燒並に高麗編物の製作を始め一定の型を示すの外、朝鮮人をして自由にその技術を發揮せしめてゐるが、翁は尙保存の意味を以て、先代の建築家屋を買收して、鎮南浦の三和花園に移築せんとして苦心して居る。

◎今度長谷川總督の好個の記念事業として、御大典記念の明堂の如きも、韓國時代に於ける好個の建築物を、同じく之を保存すべき意味の記念として永遠に保存すべき此等の建築物を、養成の爲め御用に利用せらるゝも、意味深長であるのに、近時京城名所の一となりつゝある御大典の記念として永遠に保存すべき此等の建築物を、晩撤廢せらるゝへは、意味深長であるのに、吾人は京城名所の一となることは、また無きにしも非ず。

◎近來京城內の兩班等にして、その家屋、別莊を賣却せんとするものも少なからず、爲めに代表的純朝鮮家屋は益々減少せんとするの風がある。世の成功者にして別莊其の他の造營をなさんとするものは、先づ之れに意を注げよ。若し朝鮮古建築を保護するに至らば、是れ實に天下の至寶ではあるまいか。

鷄林詩壇

湖山春曉圖　大久保曉香

曙光紅一峽、霞紫半湖、遠山巖上近山笑、靄溪煙渚春模糊、翠壁危崖家數戶、石磵記根花幾株、倒沫懸下水、白帆斜掠沙上、鶯聲漁唱兩來起、隣市呼聲風塵步、湖山之間使我神遊魂紆、

評曰、淸後淡麗、不涉俗體、

過舊友　大垣金陵

［blot］樸傾酒樽、快談不覺黃［blot］須政務風波定、雨笠煙蓑［blot］

評曰、胸臆開語、天機所觸、自然流出、

豆腐　富澤雲堂

非手今不改、淡中美味適詩胸、淸人稱贊誇大、每舉酒杯呼白龍、

評曰、前半形容太巧

支那書畫骨董珍品壹千點
空前の大競賣會
日時　五月三日四日下見五日午後一時より競賣
場所　本町二丁目　競賣會社樓上
荷主　松田初太郎
世話人　京城競賣株式會社（電話七八四）

月賦販賣　大好評
帝國百科全書
定價金七圓四十錢外送料內地十八錢　支鮮四十七錢
大日本補第百冊　販賣成る！總クロース金字入美裝
發行所　振替東京四二一八番　東京市下谷區西町三　帝國教育學會

農業之研究
發行所　東京市本鄉區長崎町　農業研究社

平壤、勝湖里間運輸營業開始
五月五日より平壤勝湖里間（十六哩）運輸營業を開始し同日より平壤寺洞及勝湖里間列車運轉時刻を改正いたし候
◎改正時刻は各停車場に掲示いたしおき候
新設停車場　美林、勝湖里
南滿洲鐵道株式會社

英語世界　五月號
高等小學・中學・女學校生に薦む
入學試驗　慶大敎授　堀英四郎
英文氣紛れ日記……山川作治
僕の懷中時計（對話）
英文歌、新聞紙（第三リーダー）……中田傳三郎
初等時事英作文……早大敎授　石黑魯平
寓言集　早大敎授　增田藤之助
釘（第二リーダー講義）……岡村早大講師
三年生の教室から……前田早實
寺內首相　英米人の生ひ立
增刊受驗界　五月五日に出來ます
東京本町　振替東京二四〇番　博文館

◎大工賃金値上廣告
物價騰貴に伴ひ組合決議の上五月一日より大工賃金左の通り相定候也
一日賃金　金貳圓也
大正七年五月一日
京城大工組合一同

東亞皮革株式會社募集
募集要項
一目的　諸獸皮製革及原料製造竝賣買植樹牧畜及之に附隨する事業
一資本金　金二百万圓
一株式總株數　二萬株（一株金百圓）
一募集株數　四千株（一萬六千株は發起人及贊成人にて引受濟）
一申込價額　額面以上
一申込證據金　一株に付金貳圓五拾錢（第一回拂込金額拾貳圓五拾錢に併算す）
一申込期限　大正七年四月廿九日より五月八日迄
一募入方法　申込價額最高の者より募入し同額の者は適宜に是を定む
一拂込期日　第一回拂込金は大正七年五月廿五日限
發起人並に贊成人（イロハ順）
創立委員長　東亞皮革株式會社　五十嵐敬止
顧問　理學博士　岸上謙吉
同　獸醫學士　須藤義衛門
株式申込取扱所
東京市京橋區尾張町新地一番地　銀座角（電話新橋二七七八）　東亞皮革株式會社創立事務所

佛紙獨の奸計指摘

佛國諸新聞曰く露國の帝室復興に關する風說は多分獨逸の奸計にして獨逸は是に依りて露國內の新聯合國派首領の信用を失墜せしめんと企てたるものなり佛國新聞は更に指摘して曰く露都に於て暴動蜂起せんか獨逸は獨逸に對し當然干涉の機會を與ふ可きを以て獨逸に取りて有利なり獨逸が露都の形勢に就て莫斯科に照會せるは一種の瞞着策に過ぎずとの疑ひあり何となれば獨逸は露都に於ける形勢を充分に知悉し居ればなり（巴里電報）

貝加爾哥薩克宣言

過激派は洪牙利捕虜の助力を得て哥薩克隊長セミヨノフの軍隊に對し攻擊を開始せしがセミヨノフ軍は逆襲を行ひボルジヤ停車場迄前進して之れを占領せり此際千五百名の過激派軍隊は抵抗を試みしが其中六百名は武裝したる俘虜にして主に洪牙利人なりき此戰鬪中墺國捕虜士官一名戰死せり外貝加爾州の哥薩克人はセミヨノフを歡迎しつゝあり而して外貝加爾哥薩克の約半數は既にセミヨノフ軍に加擔せん事を宣言せり（哈爾賓電報）

ボルジヤ戰鬪の經過

セミヨノフ軍はボルジヤを占領したるが其戰鬪の經過は二十七日午後六時よりセミヨノフ軍はボルジヤの背面攻擊を爲し砲兵の掩護射擊と軍隊の猛襲の爲め赤衞軍は一溜りも無く退却し翌午前三時迄にボルジヤを占領し多數の彈藥二門の機關銃貨物車電信電話器等を鹵獲したり猶赤衞軍は某所に主力を集中し居れるがセ軍は哥薩克の兵士募集を爲しつゝあり（哈爾賓電報）

副領事逮捕說無根

哈爾賓來電＝杉野副領事逮捕說は事實無根なるも邦人四名過激派に逮捕されたり（大阪特電）

墺太利皇帝の努力

ストックホルム來電＝瑞西のカソリック派國際通信社の發表する所に據れば墺太利のカール皇帝は講和を確保せんとて努力しつゝあるが最近伊太利に對し同國の利益の爲めに能く事態を考慮す可く訴へたりと（倫敦電報）

段氏對南策變化乎

國務院側總督府側より探聞せる處を綜合して考ふるに段總理は今次南下し各方面の意嚮を聽取せる結果對南策は餘程變化し就中李純氏との會見には雙方隔意無き意見を交換し比較的詳細に亙り對南政策を打合せ來りたる模樣にて其內容明白ならざるも既に對して從來湖南、江西、福建及び龍濟光氏所管地の四方面より極力攻勢に出る計畫なりしを爾後何時にても攻勢に轉じ得る準備を整へ置かしめ暫時守勢を執り此間に李純、梁士詒兩氏をして專ら妥協に盡力せしめ猶南方應ぜざれば大々的攻勢に出づ可しと唯南方の希望は一に國會の總統選擧法不備にあるが如し（北京特電）

新銀貨鑄造

造幣局にては一日より每日一萬圓宛新銀貨鑄造中なるが右銀貨は十日頃より市中に出づ可し（大阪特電）

北米航路值上

北米航路運賃は六月一日より五割值上に決定せり（東京電報）

橫濱生糸非況

橫濱生糸市場は米國第三次の禁輸說傳はりたる爲め二日は定期十圓安現物は百圓安にても買手なき非況を演出せり（東京特電）

大谷光瑞師

大谷光瑞師は二日午前榊丸にて上海より著連しヤマトホテルに投宿當分滯在靜養の筈也（大連特電）

米價動かず

管理令の影響もあらん外米管理令公布後の朝鮮米界を通觀するに時に微動あるも大體に於て值頃に動きを見ず乃ち正米期米共二十二圓臺を持しつゝあるが其の釘付狀態を生める米界の事情を窺ふに恐らく動くべき材料の不足なるために非ざるか何となれば外米管理令の實施は見たるもさてその影響が那邊に及び內地米價を幾許の程度まで鎭沈せしむるかは觀測區々にして容易に歸一する所なくさりとて正米の出廻りは貯米筋の氣迷ひよりか遲々として振はず旁々到底場を動かすに至らず又目下苗代の手入期なるも未だ本年の作況を豫想し得るに至らざる等の事情は米價の不動を餘儀なくせしめ居れる如し唯强氣と見られし米價が其の氣勢を挫かれ居れるは管理令の效果と見るも不可なかるべきか

公設市場（二）

商習慣を無視す

次に公設市場は商習慣を破壞し取引を害するものと爲す說あり此の說は或は半ば公設市場の性質を臆測誤解せる謬見より胚胎せしものなるべし論者は公設市場の取引は官吏又は公吏の手に依りて爲され從來商人間に成立せる

▲商習慣を無視　するものと爲すが如し然れども會議所の提唱しつゝある公設市場とは公共團體が場屋を所有し之を整理し之を監督するの意味にして取引の當事者は從來と異る所なし各商人は從來の習慣手續等に依つて其の業を營むを得べし公共團體は決して彼等の營業を奪ふものに非ざるなり但し公共團體が經營する以上其の立場は偏に公益に在るが故に從來の商習慣に盲從するものに非ず若し公益に反し又は善良ならざる習慣と認むるものは何時たりとも之を擯棄する事あるべく又は他に善良なる方法ある場合は從來の

▲習慣を停止　して之を採用せしむることあるべし元來商習慣は刻々變遷しつゝあるものにして永久固定的のものに非ず吾人は市場に激變を與へざる程度に於て漸次商習慣を改善することを切に希望するものなり蓋し公設市場を設くる一面の目的は茲に存せざるべからざればなり。次說は經營費不足の爲めに公設市場の持續困難なりと爲すものなり、此の說も亦市場所有者の一部に唱へらるゝ所なるが其の要に曰く

▲市場經營か　單に場屋の賃貸料の徵收のみに在りとすれば其の收入は到底支出を償ふに足らず京城に於ける諸市場の實績に徵するも之を知り得べし況んや大なる費用を投じて市場を建設するも必ずや投下資本の償還に窮し失敗に終らんと、論者の說は尊重すべし然り此點は慎重に研究せざるべからざる問題なれども公設市場は營利を目的とするものに非ず公益上有效なりと認むる時は多少の損失は承知の上にて經營すべきものなるが故に

▲所期の公益上　に貢獻するあらば以て滿足すべく收支の如何は第二段の問題に過ぎず且つ廣く公設市場を引證せば經營費の如き敢て憂ふるに足らず恐く相當の收益を擧げつゝあるを發見すべし公設市場の賃貸借上の關係は私法的關係を其の性質とすれども之を徵收するは公法的形式に據り多少權力の發現を見るが故に其の徵收成績は個人經營者と同日に論ずるを得ず店賃の踏倒しの如きは絕對に無きものと見て可ならむ吾人が先般計上したる收入額は假令百を得ずと雖も大差なきに庶幾かるべし

東拓增配

七分か七分五厘か

東洋拓殖會社の定時株主總會は例年の如く來る二十二日東京に於て開會の事に決定せし模樣にて諸計算書並に利益金分配案を附議する事となるべきが利益金分配は例年の如く主として米價の騰貴と小作料收納法の改正とにより前期より大に增加せる爲株主配當率の如きは前期の年六分五厘に對し增配の議あり目下主務省と內交涉中なりとの事にて果して幾何を增加すべきやに就ては明らかならざれば五厘增の七分か十分增の七分五厘の程度となるべく年八割には恐らく達せざるべしとの說頗に近し

電報五割强增

朝鮮電報の新記錄

朝鮮全道の郵便局所に於ける三月中の電報取扱數は發信著信並に中繼を合し百四十二萬四千八百八十五通の多きに及び之を前年の同月に比すれば實に五割三分六厘の大激增を示し當局に於ても其の增率の急速なるを意外としつゝあるが電信收入も十萬九千六百圓に達し前年同月より五割三分一厘の增加を示し居れり其の原因は財界の繁忙にありと

郵便所新設

調査

遞信局の大正七年度に於ける一事業として新設すべき地方郵便所は約十八九箇所の豫定なるが大正六年度は豫算不成立のため一箇所の新設も行はざりし等の關係もあり目下遞信局に對し郵便所新設の希望陳情をなし來れる數は約五六百箇所の多きに上り居れるが當局にては今後順次新設地の交通產業其の他の狀態を精査し漸を以て開設し行く方針なりと

朝郵職員異動

朝鮮郵船會社にては豫報の如く松崎營業課長の專務取締役就任と同時に一日附左の異動を行ふ事となり二日發表したり

營業課長　釜山支店長　石垣孝治

釜山支店長　元山出張所長　石川八十郎

元山出張所長心得　營業課員　廣瀨博

忠南地主會

京城居住忠淸南道地主會は既記の如く二日午後一時より永樂町研究會議室に於て開會されたるが此日出席者二百十八名宇佐美內務部長官、小原農商工部長官、松永京畿道長官、關屋學務局長、金谷府尹、其他多數の來賓あり司會者上林忠南道長官の開會の辭に次いで道の產業方針に關し米、麥、大豆、棉作、繩叺、蠶業、畜牛、林業及び之等に對する副業等の概括的說明あり道より擴張一場の講演を爲し再び上林忠南道長官は京城に在住する忠南の地主に對する希望事項として（一）舍音小作法の改善（二）產業資本貸附の件（三）水利灌漑に關する件等を述べ更に在京城地主中には曾て其の所有地を視察したることなく其の所有地すら省みざる向ありと聞く斯の如きは小作人の爲め父母の地方官民と意思を疏通するを以て爾後の所有地を巡視し小作人の勞苦を察し其の希望を聽取せらるゝと共に地主會に於て開設する地主會は地主側の意見も出し共に協力して地方農業の發展を企圖すべき旨を要望したり續いて地主側の意見も出でしが結局本會を常設のものと爲し道長官より會長、副會長、理事、評議員長等の選任依賴を了して小原長官及び宇佐美長官の講演に移りたるが兩長官とも地主と小作人の關係は密接不離にして又國家の消長に關するものなる事を例示して懇々說明し地方農業の改善延いては地方の發展と地主との責任を述べ午後五時散會したり

第三回米國輸入制限品

豫想

米國第三回輸入制限品目表中に第二回表に除外保留せられたる刷毛、蟹肉、蓆、陶器を含まる可しとの報道某方面に達し且つ同時に絹製雜貨、生糸、茶の一部も加入さる可しとの說も傳へられたるが生糸、茶等に就きては恐らく除外さる可しと豫想され居れり（東京特電）

米國陸軍新編成決議案

陸軍總員五百萬を編成せんとする決議案は上院に提出され既に軍事委員會附託となれりと（華盛頓電報）

大阪の銀行界

財界の膨脹

時局の好影響を受けたる一般經濟界は著しく膨脹を來し郵便貯金の如きに於ても最近一箇年に一億餘萬圓の增加を來し事業資金の中心機關たる各銀行業者の預金總額は日一日と膨脹を來し預金總額五十億圓に達せんとするの盛況を呈し第一流銀行たる三菱、川崎、十五、第三、浪速、山口、三十四、加島等何れも一億圓內外の預金を擁し殊に三井、第一兩行の如き二億圓以上を算し住友銀行亦二億圓の關門を突破せんとするの好況を呈せり而して預金激增に伴ふ各銀行手許遊金の多きを憂ふが如きは毫末もなく事業界の發展に連れ一面放資額も亦增加し居れば各銀行は放資先の多き爲め却て資金の不足を感じ增資を爲すもの亦預金の吸收に全力を傾注しつゝあるものゝ如し

▲預金爭奪戰　茲に於て各銀行に於て預金吸收に狂奔せる結果預金爭奪戰は日一日と猛烈となり組合銀行規定の利子も或は時として破壞せられんかの狀態にありて殊に最近藤田銀行の如き新進銀行あり盛に活動せる茂木銀行の支店增設を企畫せる其他關東銀行の之等新銳並の愈々陣頭にあるありて之等馬を進めんか更にヨリ以上の爭奪戰を惹起す可しとは蓋し想像に難からず況んや株式朝鮮日本興業の如き特殊銀行が近時普通商業銀行同樣に預金吸集に努力するに至りたるに於てをや

▲金利の釋上　特殊銀行の預金吸收に焦慮せる最近の一例を示さんか彼の宇治川電氣會社の新募債五百萬圓は年六朱五厘を以て募集されたるより會社當局者に於ては新資金必要期迄年五朱五厘當の銀行預金として預入し得ば上策なりと思惟し既に取扱銀行の一たる三十四銀行等とも協定を重ね居たるに果然臺灣銀行は年六朱五厘を以て二百萬圓を預金せんとしたるより宇治電亦自營上之に應じたるより當初契約の三十四銀行に於ては大に狼狽し遂に六朱三厘迄釋り上げ一部分を獲得するに至りたりと傳へられ居れり政府の保護を得つゝある特殊銀行に於てさへ既に然り民間普通銀行が如何に預金吸收に努力せるかは察するに餘りあり（大阪）

坂口東鹽社長入京

東亞鹽業株式會社長坂口平兵衛氏は取締役福井大藏氏及び技師林田重光氏一行は一日夜入京朝鮮巴城館に投宿當分滯在同社所屬往十里藍島牧場苗圃等を視察する由

高野三井店長出張

高野三井物產京城支店長は有賀三井物產理事出迎へのため二日朝[illegible]州に向へり四日午後七時二十五分同理事と同行歸京すべし

川上東拓理事消息

歸鮮延期し[illegible]る川上東拓理事は來る五日中東京出發鄕里愛媛縣に立寄り十日すぎ歸京の豫定なる旨東拓支店に通知ありたりと

□□□□　巨匠彥延

房州に引つ込んでいる大石鐵雄入道此頃何と感じつたか自轉車の稽古にポツポと禿頭から湯氣をたてゝ居る相な▲齒が却々以て中心が取れず何度も轉げるので入道遂に業を煮やしてハンドルは握つたまゝ目を閉ぢてウンとペタルを踏んで見た▲すると案外轉げずサーツと風の樣に走せたので入道茲に至つて始めて一大禪機を發見し▲ポンと膝を叩いて『ア、これだ〳〵此の通り君國の事も自轉車も同樣だよ靜止の狀態にあると滅亡したり轉がり落ちたりするが▲驅け出して見給へ夫から夫れと新局面が展開して旨く中心が取れて行くよ』は大に振つて居る▲緋の陣羽織で一時天下に鳴らした岩谷天狗の遠祖は秦の始皇で不死の靈藥を日本に取りに來た徐福一行の後胤だそうな▲其處で天狗も平生から大に始皇の肩を持ち辯護に努めて居る▲今月の二十日には先祖の記念祭を行ると同時に世界の民を大戰の慘禍から救ふの大願を發起し▲先づ東京府下澁谷の天狗山に『世界人道大本山』と云ふ大木標を建てると鼻息が豪いとの事▲何時迄經つても奇拔な事をせねば氣が濟まらぬものと見ゆるが▲やるなら思ひ切て始皇の萬里の長城位な處をやれば好い

新刊

貴族院議員　江原素六先生著

急がば廻れ　（縮刷名著叢書第四十四編）

急がば廻れ！一言、迂遠なるが如くにして、何ぞ其意の深長なるや。往昔の顯明、家康、近時の桂公の如き、皆此の證現者たらずんばあらず。先生が本書の公刊を許さるゝ所以のもの、亦實に躁急浮華なる現代の人心に對する懲心に外ならざる也。則ち『神聖なる幸福』『無駄のない暮し方』『修養の二方面』等三十四章、平易明快にして眞義徹底せる說の間に、其の潔玉の如き大人格より流れ出づる活ける處世訓として一本を備ふべし。

全一冊　正價壹圓廿錢　四六判約四百頁　郵稅八錢

精神の滋養物は

何人の口にも合ふ

太牢の美味　縮刷名著叢書に如く者なし

（既刊名著目錄）

（第一編）改版縮刷　努力論　文學博士幸田露伴先生著　正價壹圓貳拾錢

◎ポイント活字改版成つて光芒更に陸離たり。

(2) 修養論　一圓廿錢
(3) 信は力なり　一圓
(4) 當世策士傳　一圓卅錢
(5) 立志立功　一圓
(6) 修養と信仰　一圓廿錢
(7) 常識之基礎　一圓四十錢
(8) 道は近きにあり　一圓廿錢
(9) 桃太郎主義の教育　一圓
(10) 成功の時機　一圓廿錢
(11) 禪の妙味　一圓廿錢
(12) 男の中の男　一圓廿錢
(13) 處世講話　一圓
(14) 禪學眞髓　一圓廿錢
(15) 出たらめの記（附「閑話抄」）　一圓廿錢
(16) 女らしく　一圓
(17) 向上の一路　一圓廿錢
(18) 歷史の教訓　一圓廿錢
(19) 修養の極致　一圓廿錢
(20) 禪の活用　一圓廿錢
(21) 英雄と修養　一圓
(22) 人物と事業　一圓廿錢
(23) 花より實を取れ　一圓
(24) 修養訓　一圓廿錢
(25) 讀史の趣味　一圓廿錢
(26) 人間と自然　一圓廿錢
(27) 心の修練　一圓廿錢
(28) 禪心錄　一圓
(29) 無駄なき生活　一圓廿錢
(30) 人生の裏面　一圓廿錢
(31) 信念の發揮　一圓廿錢
(32) 無一物處　一圓廿錢
(33) 修道講話　一圓廿錢
(34) 禪學新論　一圓
(35) 修省論　一圓廿錢
(36) 哲學五流辨及其他　一圓廿錢
(37) 論語と算盤　一圓廿錢
(38) 機略縱橫　一圓
(39) 我が日蓮主義　一圓廿錢
(40) 向上論　一圓四十錢
(41) 奮鬪哲學　一圓廿錢
(42) 箇中の樂地　一圓

（以下續刊）

總クロース綴葉付

發行所　東京市牛込區見附　振替東京一七一七　電話番町三五七　東亞堂

京城大阪屋號　盛文館京城支店

京都帝國大學文科大學教授　文學博士　高瀨武次郎先生新著　（縮刷名著叢書第四十三編）

好評再版

陽明主義の修養

陽明學の長所は、實踐を尙ぶの點にあり。此の長所あるの故を以て、中江藤樹を生み、熊澤蕃山を生み、吉田松陰を生み、西鄕南洲を生み、乃木大將を生めり。著者高瀨博士は、斯學の泰山北斗。近者修養の途の、率らに多岐亡羊、漸く空疎なる口舌の末に走らむとするの弊あるを慨し、敢然身を挺して本書を公にせらる。親切翻明なる博士の解說は、よく緊切實なる斯學の眞髓を顯揚して、修養界以外、更に向上の別途あるを示す。修養者必讀の好指針たり。

全一冊　正價壹圓卅錢　四六判約四百六十頁　郵稅八錢

司法大臣　松室致閣下題字

京城地方法院所長　法學士　加古貞太郎先生序文

韓國財政顧問附　小笠原寬先生序文

法政大學校友　關西大學校友　越智唯七　編纂

發賣元　京城日報社代理部

新舊對照　朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

大正七年一月一日現在　正誤表附總クロース金文字入菊版千百九十頁定價金三圓郵稅十八錢

本書は府郡廢合の整理を既に結了したる土地調查局の調查により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるもの

道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日、鮮、淸、西曆の詳細なる對照年號を示し管區數、人口、戶數、道路里數、各道の廣袤、交通、產物名稱、舊跡、溫泉其他の概況を掲げ

本書は官廳執務上を初め政治家、實業家、學者、交通、產業其の他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺くべからざるの必携書なり

對露債權救濟

對露債權未決濟に關して我民間の迷惑一方ならざる……

……品の爲の分丈けは既に其報告據り先の計畫もあり同時には執行不可……總額約六千五百萬圓に達せるが何能なれども軍需品代金六千五百萬……

……關稅收入は總計三千八百十七萬七千兩邦貨に換算して約八千萬圓に上り前年に比し四十萬圓の增收な……たるに一方我滿洲貿易の旺盛なる爲め大連に於ては百五十萬兩安東に於ては二十五萬兩を增加し關稅……

印度歲入激增

……萬圓の收入ありし由（東京）

……萬三千百磅關稅專賣收入百四十五萬九千九百磅爲替手形取引收入百萬磅所得稅收入九十四萬六千五百磅……ると銀塊相場の激騰せる爲之を得んが爲にルピー貨幣を流出せしめつゝあると在り次に同年度歲出額は當初の豫算額に比し二百四十……二百五十萬四千磅を減少す可しと豫想せらる……荒されたるに因り前年度に比し約……習所に於て講習をなすべし

[illegible]の計畫を樹て先般來當業者[illegible]價格の内容を明示するに足るべきの内容複雜にして直に政府に於て[illegible]報告を爲さしめ居りしが軍需品引受得ざる者もあり且軍需品分優[illegible]

◉支那關税收入

千九百十七年（大正六年）中支那の海關に於て[illegible]上海に於て[illegible]萬兩、漢口に於て[illegible]四萬兩、天津に於て十三萬兩、[illegible]係の税務司所管の常關收入三百七十萬五千兩邦貨に換算して八百餘[illegible]共增收内譯を示せば鐵道收入三百七十十八萬八千磅關税收入百七十三[illegible]百五十三萬五百磅の增加となる[illegible]地金砂糖等の[illegible]からず爲替手形取引收入增加の原因はカウンシルビルの時價騰貴せ[illegible]算は最近鹽田が豪雨の爲甚だしく[illegible]

[illegible]歩兵下士二十名合計四十名を召集し五月六日より二十一日迄點呼官錄

◉行啓を仰ぎて
赤十字社總會開催
皇后陛下令旨を賜ふ
＝二日新綠の日比谷公園に於て＝

日本赤十字社にては二日午前十時より日比谷公園式場にて皇后陛下の行啓を仰ぎ第廿六回通常總會を開けり、午前九時總裁閑院宮載仁親王殿下を初め奉り同妃智惠子、東伏見宮妃周子、伏見宮妃經子、梨本宮妃伊都子、北白川宮妃房子内親王各殿下御參著、石黒社長以下歡迎の會員堵列

◆行啓 を待ち奉る程に午前十時、陛下には千種典侍御陪乘供奉員

◆出御 を請願し奉るや陛下には社長の御先導にて供奉員扈從君が代奏樂中に各皇族方を隨へさせられ式場に臨御大森皇后宮太夫より捧呈せる令旨を執らせ給ひ玉音ほがらかに朗讀あらせられ總裁閑院宮殿下を經て石黒社長に下附あらせられ次で總裁宮殿下奉答文を啓上せられ終りて石黒社長閉會を宣し陛下には諸員奉送裡に還啓あらせられたり（東京特電）

令旨

茲ニ本赤十字社第二十六回總會ニ臨ミ親シク各員ヲ見ルヲ悅ブ今ヤ西歐ノ戰局愈々紛亂ヲ極ム此ノ秋ニ方リ本社ハ其情勢ニ鑑ミ一層任務ノ重大ナルヲ知リ倍〻勉勵ヲ加ヘ事業ノ伸張ヲ計ラムコトヲ望ム

奉の諸員を隨へさせられ一同奉迎裡に御著、便殿に入らせらる、斯くて閑院總裁宮殿下には奏樂中に式場に臨御、石黒、松平、平山正副社長以下式場に臨み石黒社長より開會を宣し直に大正六年度事務並に決算の報告を爲し次に常議員及び幹事の改選を行ひ終りて社長より大森皇后宮太夫を經て皇后陛下の

◉支那研究
遠い歐米が騷がれすぎてゐる
＝爲すべきではないか

東京出の小説家長田秀雄氏が龍山軍司令部宿舍に訪へば

私が將校團に加つて滿鮮視察に出かけて來たのは多年支那を研究して見たいと思つて居たからで今後も機會さへあれば南北支那殊に

◆南支方面 に出かけて見たいと思つて居る日本の文壇は歐米の事と言へば猫も杓子も研究するがつひ目と鼻の間にある支那の事と言へば骨董屋の領分位ゐにしか考へて居らないのは遺憾だ、假令國は亂れ民は落魄敗殘の淵に沈んで居ても

◆精神文明 に於ては亞細亞の淵源となり我國の如き之が指導啓發を受け感化さるゝ所の多かつた事は歷史が證明する處である然るに歐洲の文物が一度輸入さるゝや支那は依然として舊文明の鎖に縛られて居るが日本は獨りで進む所までは進まうとした爲め

◆零細相通 じて居た兩國の精神文明は悲しく隔つて了ひ今日では同文であり乍ら遠い歐米よりも反つてお隣り同士の方が背中合せになつて了つた、政治の上や經濟の上で日支親善など騷いで居るがそれは單に形式の上の事のみで精神文明を研究して互ひに理解し合はねば効果の擧がる筈はない日本の文壇で

◆青年文士 間に支那を研究して居る者は木下杢太郎君位ゐのもので其他のものは殆んど支那に對する智識皆無なるに至つては悲觀せざるを得ないのである前にも言つた通り國民生活に於ては論ずるに足らぬとしても支那人には支那人としての偉大なる精神文明を持つて居るから大いに此が研究をして見ようと思よ

中央停車場問題
▼待合室を廣くしたい
ホームにもベンチを設け 手荷物受取口を特設すべし

本町警察署長 小牟田十太郎氏談

南大門驛の新築に關して當局では如何なる計畫があるか全然不案内なるも私としては現在の南大門驛に就て平素職掌柄此點は彼樣に改良するが一般市民の爲め又取締上必要であると思惟して居る諸點を擧げて新築驛に對する希望に代へ度いと思ふのである

◆驛名を『京城驛』と改稱する事は〃第一に考へられる事で之れには從來旅行者には種々の不便があつた樣に思ふ、始めて京城に來る者は南大門驛が京城の驛であるや否やを知らぬ者は今猶ほ頗る多いよく内地から照會して來る書面にも『京城へ赴くには何驛に下車す可きや』と云ふ問は屢出遭ふ事である此點が旅行者に不便を感せしめる事は多大であらう

◆第一に改稱を 希望する、今日の如うに構内が發著毎に雜鬧しては旅客の不愉快は言ふ迄も無く警官は取締に一倍骨を折らなければならぬ之れを防ぐ爲めに待合室は可及的廣く造つて貰ひ度いと思ふそれから出札口前は順序よく旅客が切符を購ひ驛員の制止が無くとも混雜せしめない樣に何等かの

◆設備を施す事 は最も必要であらうと考へる、又改札口は普通乘客と入場券とは近頃區別してあるがこれは吾々の職務上甚だ便宜に感ずる事で是非とも嚴に區別して貰ひ度い事である、それと京義線行京釜線行と各線に改札口を別々にする事は、旅客に便利を與へる事が多いと思ふ、ホームに休憩設備が無いがあれば何處にでもある事で

◆ベンチを設け たがよい、朝鮮人の乘客は常に過半數を占めて居るにも拘らず彼等に了解の出來る指導設備は完全ではないこれは掛札に必ず諺文を併用して便利を計る事に當局者の一顧を煩はし度いと思ふ、出口の方であるが此處は手荷物受取人と始終混雜をしてゐるが之れを避ける爲めに手荷物受取人出口を特設する必要があらう、人力車は道路を横斷して並列する事を止め

◆一定の場所に 收容し切符制度にすれば雜踏を防ぐ一助ともなれば又車夫が行先きで不當の金を要求する事を防ぐ事も出來る擔軍、自動車、馬車も之れに倣つて溜場を一定する事は勿論旅館の宿引も特定の場所で旅客に接する事を希望する之れは旅館側でも其場所に或特殊な廣告設備をすれば旅客は一見して自ら望む旅館を求める事の出來る便利があつて好都合であると思ふ

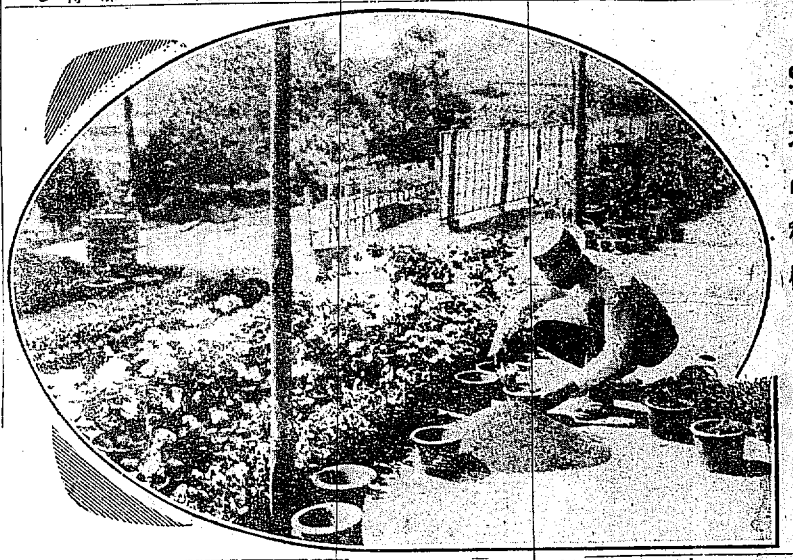
◉無駄な水を使はぬ樣に
＝全市三十萬市民の死活問題＝
それでも未だ不足勝だらう！
新給水設備
鷺梁津の仁川水道水源池から龍山を經て來る

◇水の使ひ方が激しく一日の如き特に一時七尺五寸迄水位の下つた京城水道の水源池は三十日の雨で假に水量を增し目下十五尺五寸を示して居る最低位に比べると恰度八尺の增加であるが其後好天氣が續く故か便宜を圖つて午後六時過ぎも鳥渡給水して居たところ忽ち五十萬立方尺許り減水した此調子では水源池は日ならずして涸渇して了ふであらう總督府では之より先年々起る實例に鑑み京城市民を水攻めの苦痛より救ふべく鷺梁津の仁川水道水源池から龍山を經て

◇市中に給水する計畫を樹て目下從來の十六吋の鐵管を埋設中であるが之れは來る七月竣工の豫定であるが京城水道の現狀は到底其竣工を待つ事が出來ないので水道係では特に臨機の處置を取り十六吋鐵管の不足の部分に六吋鐵管を埋設して其速成を圖る事とした既に先月二十七日から工事に著手し

◇茲兩三日中には竣工する豫定であるが之が竣工を告げると日々四、五萬立方尺の給水を得る見込みだと云ふ然し此の新給水量を從來の給水量に合しても漸く五十萬立方尺に過ぎない度ひ夫に一日のやうに五十萬立方尺も使用されたら折角の新工事も何にもならぬ當局の苦心が水の泡になるより何より

◇忽ち全市三十萬市民の死活に係る事であるから一般に無用の水を費はぬやう出來る限り節約する事が肝要であらうと水道係は語つた尚新給水の設備が竣工しても斯麼譯で午後六時以後の斷水は尚ほ當分續行する筈なりと



♣草花の移植＝百花園の日南＝

◉クラカウに暴動起る

コペンハーゲン來電＝クラカウにて食糧品饑饉の結果最も激烈なる暴動發生しつゝあり（東京電報）

▲附記 クラカウは墺洪國の北部ガリチヤにある要塞市なり、昔波蘭の故都にして猶太人多し、大正三四年に露墺軍の戰ひし所也。

◉深い印象を與へられて
支那記者團出發

支那新聞記者團一行は二日月曜朝明治專門學校及び八幡の製鐵所を視察したる後同夜の關釜連絡船に乘じ下關發歸國の途に就きたり一行は日本を

◆去るに臨み 我等は朝野の熱誠なる歡迎に對して深き印象を與へられたり是等の熱心なる歡迎は日支兩國民の意志を疎通し東亞の平和と福祉とを增進する所以なる事を了解せり此了解を齎して我等は歸國し我國民に報告し益〻日支親善を計る事に努力す可し

◆今山紫水明 の日本を去るに臨み一行を代表し滿腔の謝意を表すと汪團長は語れり（門司電話）

◉應召點呼について
＝朝鮮在鄕軍人に

大正七年より朝鮮在留の在鄕軍人に對し其の地に於て勤務演習、簡閲點呼施行のことは屢報せしが京城府内在留の在鄕軍人にして此の應召參會を爲さんとする者は左項留意の上〻際之が手續を履行し萬遺憾なき樣特に注意せらるべしと

（イ）在留地勤務演習應召並に簡閲點呼參會の許可は六月三十日迄（本年に限り）て本籍地聯隊區司令官（本籍地市區町村長經由のこと）て願出て許可を受くべく萬一右事項願出を爲さんとするに當り渡鮮當時本籍地聯隊區司令官（市區町村長經由）に爲すべき在留屆若は在留地變更屆出（本籍地に於て召集の命あるときは通報すべき者連署を要す）未濟なるときは自然願書受理の運びに至らざるべし

（ロ）右許可到達したるときは七月三十一日前（本年に限る）て第十九師團長（京城府尹經由のこと）て其許可の屆出を要す

（ハ）未教育補充兵の簡閲點呼は大正七年度に於ては大正二年大正三年、明治四十四年、明治四十一年の徵集者に限るを以て右該當者以外の未教育補充兵に在りては現に在留するも其の手續を要せず但し在留屆出（召集通報人連署也）は本籍地聯隊區司令官（市區町村長經由）に爲し置くべし

（ニ）勤務演習應召簡閲點呼參會に關する願屆出樣式並手續期限等は京城憲兵分隊若は京城在鄕軍人分會（京城分隊内）より詳細なる心得を一般在鄕軍人に配付する由なれば至急照合せらるべし

◆內地人縣別

京城府調査に依る府内居住內地人の大正五、六年比較增減縣別表左の如くにして總計の上より之れを見れば四百六十五人の減少を示せり（○增△減）

府縣別	人口	增減
東京	四、〇六六	△四〇
京都	一、三三八	○五二
大阪	二、四六七	△一四六
神奈川	七〇二	△六三
兵庫	一、七二四	△一三六
長崎	三、九三三	△一六二
新潟	一、〇九一	△八三
埼玉	四一一	○二八
千葉	五九七	△四一
茨城	七二〇	○六六
群馬	五〇一	○四八
栃木	四一六	○二〇
奈良	四八四	○九
三重	一、〇九九	△一三
愛知	一、五三九	○三三
靜岡	一、〇〇四	△二三〇
山梨	四四二	○三〇
滋賀	八二〇	△一〇
岐阜	九〇三	△六
長野	八八一	○五五
宮城	八四六	一
福島	七七六	△四三
岩手	三七〇	○一二
青森	二二三	△二二
山形	六〇五	○三〇
秋田	四一〇	○一二
福井	一、〇四五	○四〇
石川	一、一九四	○四九
富山	八八〇	○二六
鳥取	五八九	△二六
島根	一、四八三	○一六二
岡山	二、一〇三	△一七
廣島	三、五一四	○一三六
山口	六、一九九	○一〇一
和歌山	六五三	△九七
徳島	六一二	△五一
香川	一、二一八	○七九
愛媛	一、五一一	△四
高知	五四四	△二六
福岡	四、四四六	△二一七
大分	三、一八〇	△四九
佐賀	二、六九三	△一三五
熊本	三、二二一	△七六
宮崎	三三一	△四
鹿兒島	二、一八九	○一八〇
沖繩	三〇〇	△一
北海道	四九〇	△三六
總計	六六、五六五	△四六五

◉手長女中懲役

岡山縣苫田郡津山町生れ京城本町二丁目八木某方の下女に雇はれゐたる前科一犯の甲田はるは先頃主家の現金

◉三井庭球コート新設●

三井物產京城支店庭球部にて這般明治町善隣商業學校跡にコートを新設し來る五日午後二時同コートに於て庭球競技を開く由

◉乘馬遠乘會

五月の日曜日を期し龍山偕行社主催にて鷺島附近に乘馬遠乘を擧行すべく目下計畫中なるが聞く所によれば昨年第一回遠乘會は永登浦附近を往復したるも本年は練兵場集合南山南麓の若芽萌ゆる新綠を追ひ幽邃なる溪谷を辿り鷺島に出で晝食を盛りの林檎梨花を眺めつゝ清涼里を繞り訓練院なし歸路或は解散すべき豫定にて地方乘馬俱樂部其他有志にも勸誘すべし

◉不良少年處刑

廣島市吉島町生れ京城若草町居住の佐倉武夫（一七）は先頃外二名の不良少年と共に京城市中にて泥棒を働き其の贓物を牙保したる等の罪に依り京城地方法院にて此の程懲役八箇月及び罰金三十圓に處分となる

京日俳句會（米谷歡迎）

▽時日 四日（土曜）午後一時
▽開所 南山本願寺
▽兼題「若葉」三句
▽會費 金十五錢持參の事

第拾回決算報告

自大正六年十月一日至大正七年三月卅一日

貸借對照表

科目	金額
負債之部	
株金	[illegible]
中買信認金	[illegible]
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
當座勘定	[illegible]
未拂配當金	[illegible]
繰越金	[illegible]
純益金	[illegible]
計	[illegible]
資産之部	
未拂込株金	[illegible]
市場買掛金	[illegible]
賣掛金	[illegible]
營業用品	[illegible]
什器	[illegible]
假拂金	[illegible]
貸付金	[illegible]
有價證券	[illegible]
受取手形	[illegible]
現金	[illegible]
計	[illegible]

損益勘定

科目	金額
手數料	[illegible]
雜收入	[illegible]
當期總益金計	[illegible]
營業費	[illegible]
仲買歩戻	[illegible]
當期總損金計	[illegible]
差引當期純益金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
計	[illegible]
內	
法定積立金	[illegible]
別途積立金	[illegible]
役員以下賞與金	[illegible]
配當金（年六朱）	[illegible]
後期繰越	[illegible]

右之通候也

大正七年參月參拾壹日

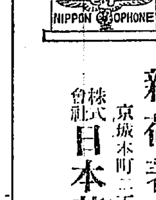
京城日丸水產株式會社

取締役社長 山口太兵衛
取締役 和田常市
同 秋吉富太郎
同 中村再造
支配人 伊熊[illegible]
前記之各項調查候處相違無之候也
監査役 [illegible]
同 林田金次郎
同 [illegible]

▲どんな病でも來てごらん▼
▲きかぬ時は治療費いらぬ▼
難病者の福音 哲理治療開始
◉治療費 一回金五十錢 一週間金三圓 但し一週間毎に後納、無効のものは料金を要せず
京城明治町三丁目小川旅館方 健全哲學館大學朝鮮分館長 江藤旭洲

扇風機發賣
神奈川縣川崎町 東京電氣株式會社
販賣部出張所
門司市西本町三丁目 門司 電話長六八四六番
福岡市下店屋町 福岡 電話二二六番

郵船株利益配當終了
同株は五月を以て新株交付となり市場の主力株として賣買一層値段の昂騰も又劇出なる事論なし本會は尚一層の努力し御信任に反かざらん事を期す乞加入希望の方は至急申込あらんことを
大阪北區堂島中二丁目四一 大阪商事社內 船株賣買 電北九二二



新荷著（目錄贈呈）
京城本町二丁目廿九番地 株式會社日本蓄音器商會 電話一八三二 振替京城六八四番

資本金壹百萬圓
京城 株式會社漢湖農工銀行
不動產ニテ長期低利ノ貸出致候
支配人 遠山[illegible]
支店所在地（開城、春川、大田、江景、公州、清州、忠州、論山、鐵原、鳥致院）
普通銀行業務は懇親切に御取扱可申候

人體の最高靈藥たる

高麗人蔘
開城朝鮮總督府專賣局所管地內產出の眞正なる本品を破格の廉價を以て提供せり
◎眞正高麗白蔘 一箱 五圓
◎同 （本同）一函 三圓
◎同 （ボール）函 二圓
◎同 一箱 壹圓
▲其他各製品及白蔘紙包、斤賣大販賣
開城高麗蔘業社製品 全國一手販賣
京城太平通り一丁目 京城日報社代理部
送料 鮮內十二錢 外三十錢
電話長三二六（構內一八） 振替貯金口座京城二〇〇〇番

眼科專門 金井眼科醫院
京城若草町（總督府通り若草町新道路中程） 電一五五六
新築落成◎入院隨意 日曜祭日午前中

新派大悲劇 大好評 殘れる母娘
毎夜館内涙の海と化す
舊劇 有馬音頭
空前の好評特に本夜迄日延仕候
五月三日 黃金館

北海材荷著案內
鹽地、栓、楢、櫻、桂、朽、一栓板機械挽（二分五厘以上三尺以上）
椅子卓子木取販賣
和洋家具材 床ロクロ廻用材
京城黃金町一丁目 本明雜木店 電話三一七五番

舊劇 阿波十郎兵衛
猛獸活劇 森の奇人
新派悲劇 吉丁字
三日より 大正館

花吹雪

大阪　中谷青霞

（十九）

「なア小梅の寮に出養生とな、亭主一定ぢやな。」

と兵馬は腰を落ちつけて、扨と云ふ顔。

「全く相違ござりませぬ、倘御不審とあらば、何れの部屋なりとお調べを受けても苦しうないこと、就て此程お預りの金子、確かに御返済。」

と亭主は懐中より小判幾枚、取出して奉書の白紙に乗せ、ずつと前へ差し出した。

兵馬は見向きもせず、何事か柳川と眼の合図、制哀く笑うた。

女も居りますればお座興ともあれ、一先づ此程のお預りはお返し申して置きまする。」

と又突出す。

『いや其れならば亭主預けて置かう兎も角も唐土が揚げ代として取つて置てお呉りやれ、又来うとも何れで逢はうとも唐土はこの家の抱へ、先逢ても、お云やつた通り黄金のかゝつた身體、自儘にもなるまい、亭主お解りやつたか。』

と云ふ兵馬の口占、なア扨は扨代預けて有無を云はせぬ金縛をはめ、小梅、踏込む心底……と見て取つては、さらでも亭主は詰つきか、ぢろりと亭主が額のあたりを睨め下して。

『いや、然うあらば左まで覺悟をお極めやる程の事はない、今一刻早く其事を直ぐにお云やつたら、此方とてあたら柄に手をかけるものはなかつたのぢや、正直もそこまで行けば行詰りと云ふもの亭主許しやれ、ならば又の事にして今日は此儘引取る、折もあらば唐土へ某が心底よきに傳へて置いてお呉りやれ。』

と俄に變る容模様、亭主は口の動くをぢろりと眺めて北叟笑み。

『さうござりますれば、私方も仕合せ、有やう小梅とあらうが唐土を直ぐにもなど\仰せられては此方も差當りいかい當惑と、實内心では薄氷を踏む思ひでござりましたを、まづ\/の喜び、外々の遊附けて。

『唐土が揚げ代お預りは得申しませぬ、何時癒ゐるとも分らぬ病痾、それのみならず仲萬字は明日とも知れぬ揚げ代の前金、預かる法はござりませぬ。屹とお返し申します。』

ときキッパリ云ふ。

『亭主、男が一端投げ出した金子何程云うたとて餘人は知らず、兵馬殿はお受けやらぬさ。』

と柳川は早も、尻の腰を浮かす。

『ぢやと申して、此金子ばかりは受取れませぬ。』

『受けずとあつても呉れて遣る、亭主さらば。』

と兵馬はずんと立上る

『いね、こればかりは……。』

と亭主が捉へる袂の端、柳川續いて立上ると引放し

『ゑゝ面倒臭いな、亭主唐土は我等が揚げたぞ。』

『いわそれは……暫く……。』

と取附くを突放し、二人は玄關へバタ\/と驅け出すと、國秦草履突掛けるが否表の方、さつと暖簾を二つに分けて。

『ねヽ奴共、萬字が小梅の寮はかねても知つてゐよう、唐土は出養生、取巻いて一寸も外へ出ぬやう見張りせい、何者が尋ねて來うとも探へ入るゝな、急げ、我等は後より兵馬殿を同伴する、油斷ないやう揃へて見張れ、急げ、廻るな早く行けッ。』

柳川が屹と命ずる聲に、待ち草臥れた奴共、飛ぶが如くに二三人、何處ともなく姿は消ゑた。

キリン生ビール賣出し
南大門通　電話二五七一番　カフエータイガー

◇お伽噺を應用した特許局の玩具

教育的の面白い新案

二三日前から農商務省の特許局陳列館に家庭參考品として新しい意匠の玩具類數百點が陳列されてゐますがそのうちで活画的な最も

▽新しい　ものを擧げて見ますと、三人チャプリンといふ題でブロックにシルクハットを冠つた五寸許りのチャプリンに似た人形が靴の底に取りつけられてある細い空氣喞筒の作用によつて一足づつ滑稽な足取りで歩いて行くので、これは持つて遊ぶといふよりも科學的の智識を養ふ方に重きを置いて作つた者と見られます次は伸縮自在の木製

▽舌切雀　これは唄雀と鼓を打つ雀と踊りを踊る雀とお爺さんとお婆さんとが菱形に疊んだ細い平の棒の上に並べたもので兩端に取付けてある附木を持つて引きますと四羽ならんだ雀が急に一列ならびの八羽になるといふ工夫で同じ木製のもので車の上に立つた白象は綱を引くたびに長い鼻と尾とを振りながら

▽お辭儀　をするやうになつてゐますそれから女のお子さん達によいと思はれるもの\うちに、鳩の家といふ玩具がありますが、これは五寸許りの高さの木の枝に可愛らしい鳩の家がつくられて、丸い四方の窓から二羽の鳩が首を出してゐます。そしてその下枝に、やはり二羽の鳩が止つてゐて、糯に取りつけた捻子をまはすと、窓の鳩たちは首を出してお辭儀をし

▽下の枝　の鳩はところを縫へて他の枝に飛びうつり、これと同時に仕掛けてある笛によつて鳩の啼聲がいたします。教育的のものでは、イソップ物語や日本五大お伽噺を應用したものも大分に見ゑましたそのなかでイソップの狐と鶴の玩具が面白いと思ひました細長い横木の上に一つの壺が眞中にして、狐と鶴とが列んでゐますネヂを押すと鶴の

▽長い首　がもつと長くなつて、壺のなかのものをくわへ出すやうになつてゐます、それから奈良縣下の出品として竹製の鹿がありましたが、細い竹の一と節を切つてそれを胴にし、下の方へ四本の足をやはり細い竹でつけ、角もやはり竹の節を應用し、脊と口とに彩色をして牝牡の鹿をつくつてあります、これは活動はしませんが

▽應用の　仕方に興味がありました、その他モーターボート、水鳥、蛙、金魚、軍艦など水に縁のあるものも大分にありましたけれど惜いことに新意匠のものは少いやうでした、たゞ京都の出品で魚の鱗をアルカリ酸で柔かにしそれに美しい色彩を施して西洋人形の装物水鳥の羽毛抔にしてあつたのは可なり目を惹きました（京東）

技術紹介（李鴻章）
京城本町　千代田號

日報俳壇

□洪州吟社詠草

春の空に光り擲つ大河哉　蟲水
春淺き鳥語聞ゆる背山哉　一水
詩趣添ふる女獵師や雪解川　山水
父の下駄穿き歩く兒や春の雪　晴嵐
花一朶手向くる小さき墓石哉　同
春淺き斧斲する障子哉　有常
花の山離るゝ月の白さ哉　松通
物なべて海苔の匂ひや汐干狩　無腸
汐干狩ャ物煮る舟の土鍋哉　凉火
辺に纏はる美しき藻や汐干狩　伯水
灯點じて櫻輝く廊下哉　盈南
灯遊のよき犬連れし女かな　一蓉
終日の霞に詩腸脹れけり　馬角
氷擲ける雉子にや丘の夕霞　酒川
楽園の歌面白き野遊かな　す鐵
長橋の霞に流る瀬音哉　石細
鼓よくす妓嬉しさよ花の雨　烏椄
廢道に岩登れ立つ櫻かな　鐵騎

▲春の句を募る　句數制限無し締切期日なし但し合報は可成同一人の句を取纏め同一の箇所に記載せられたし（句稿は總て平壤…町松田常宅直接送付ありたし）

新刊紹介（到着順）

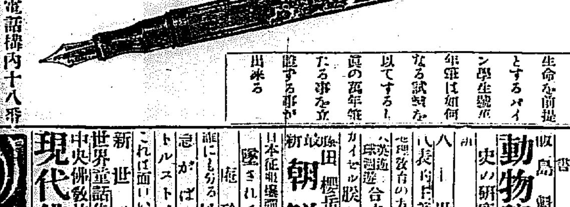
▲草汁（第一號）　文では硬いも軟かいのも御好み次第にやつて除ける一方には俳句に御堂れ家も舌を捲く程にやつてのけるといふ大正文壇の奇才小野賢一郎君が今度雑誌の如き雑誌を出した、表紙の題字も自分で書き中味も無論自分で編纂した…（東京下谷…）

▲養鷄と園藝（五の四）　十五錢　大阪東區…（二三養鷄園雑誌社）

▲刀の研究（四の四）　二十五錢　東京下谷區…町二の三（南人社）

▲婦人週報（四の一七）　五錢　東京牛込市ケ谷…町二の一七（社）

パイソン（學生號）萬年筆（五年以上久用力）
金貳圓八拾錢
送料　内地鮮内三十錢
五年以上の生命を前提とするパイソン學生號萬年筆は如何なる試驗に以てするも眞の萬年筆たる事を立證する事が出來る
發賣元　京城太平通電話構内十八番　京城日報代理部　振替京城三〇〇番



京日案内
一回前金一番外一回前金…錢
▲申込後中途掲載中止の節は料金不返戻
▲六行以上の御申込は特に割引のことあり
▲御照會は返信料御同封のこと
▲御照會は必ず番號の記入を乞ふ
普通
給仕採用　餘暇修字の便を與ふ本人來校　京城公立高等女學校 43
雇はれたし　京城市内にして官廳銀行及會社員の方の宅を望む　年齢三十八才（姓名在社） 42
有樂館お茶子募集　希望者は本人來談三十歳迄の者　東拓會社前電一九〇三古室商店 44
店員入用　十七八歳以上廿…歳　新龍山電車終點前　鍋屋雜貨店 3
鮮人社員二名採用月收三十圓外歩合履歴書要本人來社　京城吉野町一の二七七　…新聞支社 38
乘合馬車六人乘一臺平急讓渡たし御希望の方は京畿道抱川郡邑内菅野商店へ
番外
轉居　大和町三丁目三番地　田中半四郎　電話一一四二番 41
年金恩給　最長期即時立替利極安前年半迄保險要　京城永樂町　江州屋本店 4
花　朝顏名稱付蒔時　今か蒔時　西洋草花、種子、苗、農藝時… 675
優良蔬菜種子　京城明治町一丁目　振替京城四八四七　洪農園
朝鮮語科　英語科　三ケ月修業期新學期各級補缺募集　南大門通漢城銀行向ヒ　京城青年…
恩給年金長期低利立替短期ハ但舊恩給ニ對テハ保險ヲ要セズ此際四年分迄　京城日之出町十一　日之出學校裏門前　吉田屋 36

法人登記公告
地方金融組合登記公告　事項中變更　鐵原地方金融組合一口ノ金額ヲ金壹千貳百武拾九圓トシ出資ノ總口數ヲ四百武拾九口ト變更ス
右大正七年四月貳拾九日登記
京城地方法院鐵原支廳

法人登記公告
原州地方金融組合登記事項中出資口數ヲ八百八拾六口、拂込ミタル出資ノ總額ヲ武千九百拾圓八拾參錢ト變更ス
右大正七年四月貳拾九日登記
京城地方法院原州支廳

法人登記
公州地方金融組合登記事項中出資口數ヲ五百八拾七口、拂込ミタル出資總額ヲ壹千七百七拾九圓四拾錢ニ變更ス
右大正七年四月貳拾九日登記
京城地方法院驪州支廳

購買入札
三十一點
通信用品購買入札以下三十七點詳細ハ大正七年五月三日朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

石油發動機入馬力　東京池貝壹臺
ポンプ　センドル、ヒユゲル拾二吋徑ベンドブーバルブ共壹臺
右割安賣却來談願上候
器械材料商　京城南大門通五丁目　中村幸商店　電話二二五番

法人登記公告
淮陽地方金融組合登記事項變更　出資總口數ヲ五百九口、拂込ミタル出資ノ總額ヲ金武千七百拾四圓七拾錢ト變更シタリ但監事任期滿了ノ處改選ノ結果大正七年參月拾壹日現在ノ者重任シ左記ノ者新ニ就任ス
江原道淮陽郡淮陽面邑内里武百壹戸　宋燦稷
右大正七年四月武拾九日
京城地方法院淮陽出張所

最新刊
動物學提要　吸島魁編　定價拾武圓
史の研究各々の部　黒板…
八世、表現、入遊…
現代佛教研究　定價九十五錢
朝鮮地理　定價武圓　…
大阪屋號書店　京城本町…振替京城二五七三

酒井婦人病院　京城永樂町二丁目（商品陳列館裏門通）　電話一八〇〇番　院長　酒井一郎

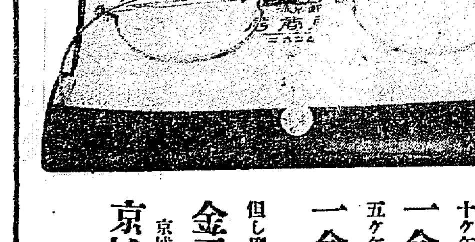
優等清酒

廣島縣西條町　釀造元　木村靜彦
京城府鍾路（中央市場）　發賣元　河野酒店　電話二三〇八番

鑛業講習録
鑛業の智識を得んとする者は見よ　新學期開講入學者には特點あり　本校は…
大日本通信山學校朝鮮支部

朝鮮不動產登記申請書式　商業登記
朝鮮總督府裁判所書記　早川保次君編　第四版　定價一圓　郵税八錢
不動產登記の部　商業登記の部
發行所　京城太平通一丁目　京城日報代理部　電話三六構内一八
取次所　京城本町　大阪屋號　振替京城二五七三

資本金壹千萬圓
頭取安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目　電話五八番　振替貯金京城一九三四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候



アメリカ製金張眼鏡
十ケ年保險附サック入玉付
一金四圓　送料十二錢
五ケ年保險附　同上
一金參圓五十錢　送料十二錢
但し度數玉は何れも別に金五十錢申受候
京城太平通　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

双眼鏡
十五形　金十二圓
十三形　金十一圓
送料　鮮内一二十錢
御注文の節は荷物… 至急御下命願上候
京城太平通電話構内一八番　京城日報社代理部　振替京城三〇〇番

りん病ばい毒　患者諸君
にせドラッグあり御注意
近來東京其他各地に於てドラッグの名を冒して…
詐欺漢なり
京城南大門外停車場通　花柳病ドラッグ商會本部

京城龍山等各地　御注意

間自動車著發時刻
金泉・織居自動車部

釜山出帆廣告
汽船　門司、神戸、大阪行　和歌浦丸　月日後五時
立神丸　月日後五時
元山、浦津、浦項行　和歌浦丸
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行　天興丸　毎月二日九日十四日　午後十時
元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三平安丸　毎月…日
門司、宇品、神戸、大阪行　第三平安丸　四月
本船取扱店　大池回漕部

大阪商船株式會社汽船出帆廣告
仁川出帆
神戸、大阪行　五月四日　後五時
山東丸
△鎭南浦、神戸、大阪行
西湖津、釜山、城津、清津行
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　安平丸
大連出帆
上海、基隆、打狗行　湖北丸　五月十一日　前六時
内地各港出帆主要航路
南米行　毎月一回
北米行　毎月一回
孟買行　毎月一回
南洋行　毎月一回
御注意　仁川京城通り荷客取扱所

朝鮮郵船出帆
釜山港　元山港　仁川港　…
京城南大門驛前　松原運送店

日本郵船仁川出帆
大連行　相模丸　五月二十日
三河丸
高砂丸
仁川海岸町一丁目十一番　堀回漕

尼崎汽船仁川出帆
神戸・下關・大阪行
秀吉丸　君代丸　大有丸
仁川海岸通五十九番　高杉回漕

共同汽船仁川出帆
大連行　共同丸
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目　野口商會
仁川代理店